パソコンのトラブルを解決する本

パソコンの様子がおかしいときや困ったときに

VALUESTAR

LaVie

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

パソコンを使う準備をしよう

『準備と設定』

ケーブルの接続やパソコンのセットアップ／基本中の基本の操作／インターネットに接続する方法／パソコンを買い替えたときは　など

パソコン活用のヒントはこの本

『活用ブック』

マウスやウインドウの使い方／日本語入力をマスターしよう／メールやホームページの楽しみ方／便利なソフトの活用術／セキュリティ対策について　など

トラブルが起きたときは

『パソコンのトラブルを解決する本』

パソコンの電源が入らない、パソコンが急に動かなくなったときは／画面が表示されない／ウイルスに感染してしまったら／再セットアップ方法　など

パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本』

（デジタルハイビジョンTVモデルのみ）

パソコンで簡単にテレビを見る方法／おてがる予約や追っかけ再生／録画番組の編集／ DVDなどへの保存方法／一歩進んだテレビ操作　など

853-810601-819-A

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

障害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

	してはいけないことや、注意していただきたいことです。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損などの可能性があります。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
DVD/CD ドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、BD-ROMドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、およびDVDスーパーマルチドライブのいずれかを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、デスクトップの(ソフト&サポートナビゲーター)をダブルクリックして起動します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

マニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチドライブ機能付き）を搭載しているモデルのことです。
BD-ROM ドライブモデル	BD-ROMドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
DVD スーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ（DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW ドライブ（DVD-R/+R 2 層書込み））を搭載または添付しているモデルのことです。
デジタルハイビジョンTV モデル	デジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
RAID モデル	RAID 機能を搭載しているモデルのことです。
Windows Vista Home Basic モデル	Windows Vista® Home Basic があらかじめインストールされているモデルのことです。

853-810601-819-A
2009年4月　初版

Windows Vista Home Premiumモデル	Windows Vista® Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows Vista Businessモデル	Windows Vista® Businessがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows Vista Ultimateモデル	Windows Vista® Ultimateがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2007モデル	Office Personal 2007またはOffice Personal 2007とPowerPoint 2007が添付されているモデルのことです。
Office Personal 2007モデル	Office Personal 2007が添付されているモデルのことです。
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデル	Office Personal 2007とPowerPoint 2007が添付されているモデルのことです。

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。
お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows Vista	Windows Vista® Home Basic with Service Pack 1（SP1） Windows Vista® Home Premium with Service Pack 1（SP1） Windows Vista® Business with Service Pack 1（SP1） Windows Vista® Ultimate with Service Pack 1（SP1）
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007（Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007、（Microsoft® Office ナビ 2007）） ※ Microsoft® Office 2007 Service Pack 1 をインストール済み
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007	Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007 ※ Microsoft® Office 2007 Service Pack 1 をインストール済み
IME 2007	Microsoft® Office IME 2007
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
Word 2007	Microsoft® Office Word 2007
Excel 2007	Microsoft® Office Excel® 2007
Outlook 2007	Microsoft® Office Outlook® 2007
PowerPoint 2007	Microsoft® Office PowerPoint® 2007
Office ナビ 2007	Microsoft® Office ナビ 2007
Windows Media Center	Windows® Media Center
BitLocker	Windows® BitLocker™
「スタート」	Windows Vista®スタート ボタン
ユーザー アカウント制御	Windows® ユーザー アカウント制御
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2009
Roxio BackOnTrack	Roxio BackOnTrack Suite

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121 コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外における保守・修理対応は、海外保証サービス［NEC UltraCare^SM International Service］対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business またはWindows Vista® Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROM は、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、Windows、Windows Vista、BitLocker、Internet Explorer、Office ロゴ、Excel、Outlook、PowerPoint、Windows Media および Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
TRENDMICRO 及びウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
PS/2 は IBM 社が所有している商標です。
Bluetooth ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、NEC はライセンスに基づきこのマークを使用しています。
121 ポップリンクは、日本電気株式会社の登録商標です。
BIGLOBE は NEC ビッグローブ株式会社の登録商標です。
「Yahoo!」は、Yahoo!Inc. の登録商標です。ヤフー株式会社は、これに関する権利を有しています。
Roxio BackOnTrack は米国 Sonic Solutions 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

テレビの視聴に関するQ&Aは、『テレビを楽しむ本』の「Q&A」をご覧ください。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致しております。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

第1章 トラブル解決の方法

パソコンを使っていると、いろいろなことが起きます。
とくに、あなたが初心者なら、操作に迷うこともしばしばあるかもしれません。
あわてずに、まず、この章をご覧ください。

状況を確認する

トラブル解決の第一歩は冷静な状況確認から。

トラブルが起きたときは、まず冷静になることが重要です。あわてて、適切でない操作をすると状況が悪化する場合もあるので、落ち着いて状況を確認しましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定を忘れていた、など、意外に単純な原因であることもよくあります。

パソコンから煙が出ていたり、異臭や異常な音がしたり、手で触れられないほど熱くなっているとき、パソコンやディスプレイ類に目に見える異常が生じたときは、すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、バッテリを外し（LaVieのみ）、NEC 121コンタクトセンター（p.122）にご相談ください。

●しばらく様子を見る

パソコンの処理に時間がかかっていると、動作が止まったように見えることがあります。あわてて電源を切ったり、マウスやキーボードを操作せずに、しばらく待ってみてください。

●メッセージを書き留める

パソコンの画面に何かメッセージが表示されているときは、紙に書き留めてください。トラブルの原因を調べるときに役立つことがあります。

●直前の操作を思い出す

トラブルが起きたときどんな操作をしていたか、いつもと違う操作をしなかったかを思い出してください。また、最近、新しい周辺機器を付けた、新しいソフトをインストールした、といったことも解決のヒントになります。

トラブルの内容が確認できたら、状況に合わせてトラブル解決の方法を探します。

パソコンが使えない状態のとき

■ソフトや画面が反応しなくなったとき p.4

急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったとき（フリーズしたとき）は、ここを見てください。

■電源・パスワードなどのトラブルのとき p.45

このマニュアルの第２章で解決法を探してください。

パソコンが使える状態のとき

■「ソフト＆サポートナビゲーター」で調べる p.7

パソコンが使える状態なら、「ソフト＆サポートナビゲーター」で対処法を調べます。

■インターネットで調べる p.9

インターネットが使える状態なら、「121ware.com」のホームページで対処法を調べます。

インターネットのトラブルのとき

■インターネットにつながらないとき p.11

ホームページが表示されない、インターネットにつながらない、などのトラブルが起きたときはここを見てください。

テレビに関するトラブルのとき

■『テレビを楽しむ本』で調べる p.13

テレビ機能を搭載しているモデルで、テレビが映らないなどのトラブルのときは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

このほかにも、トラブルの解決につながる情報があります。詳しくは「その他の解決法」(p.14)をご覧ください。

上記の方法を試しても問題が解決しない場合は、121コンタクトセンターに電話をしてください。121コンタクトセンターへのお問い合わせ方法やお問い合わせのコツについては、付録の「121コンタクトセンターに電話する」（p.122）をご覧ください。

ソフトを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき

パソコンを使っていて、動かなくなったときはこのページを見て対処してください。

急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったときは、画面の表示などに時間がかかっているか、ソフトやWindowsに異常が起きている可能性があります。しばらく待っても変わらないときは、次の対処をしてください。

●操作をキャンセルしてもとに戻す

ソフトに「元に戻す」、「取り消し」、「キャンセル」などの機能があるときは、使ってみてください。

●異常が起きているソフトを終了させる

通常の方法でソフトを終了できないときは、次の手順で、異常が起きているソフトを終了できます。

この方法で終了した場合、データは保存できません。

1 キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】（LaVieは【Del】）を押す

2 「タスクマネージャの起動」をクリック

3 右側に「応答なし」と表示されているタスク（ソフト）をクリックして、「タスクの終了」をクリック

●Windowsをいったん終了する

次の手順でWindowsをいったん終了（シャットダウン）し、電源を入れなおしてください。問題が解決する場合があります。

1 「スタート」をクリックし、▶をクリック

2 「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れて、電源ランプが消灯します。

この方法で電源が切れないときは、次の「Windowsを強制的に終了する」をご覧ください。

Windowsを強制的に終了する

「Windowsをいったん終了する」の手順で電源が切れない場合は、次の手順で強制的に電源を切ることができます。

- ソフトなどで作成し、保存していなかったデータは消えてしまいます。
- この方法で電源を切ることは、パソコンに負担をかけるため、どうしても電源が切れない場合以外は使用しないでください。
- フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っている場合は、取り出してから電源を切ってください。
- CDやDVDなどのディスクがDVD/CDドライブに入っている場合、取り出せる状態のときは取り出してから電源を切ってください。取り出さずに電源を切った場合は、次に電源を入れたときDVD/CDドライブから起動することがあります。その場合はイジェクトボタンを使ってCDやDVDなどのディスクを取り出した後で、電源を切ってください。
- SDメモリーカードなどのメモリーカードやUSBメモリがセットされているときは、取り外してから電源を切ってください。
- アクセスランプが消えていることを確認してください。
- 電話回線を使うソフトを起動しているときは、電源を切る前にソフトを終了してください。

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける（通常、4秒以上）

この操作を「強制終了」といいます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

電源が入ります。「Windowsエラー回復処理」が表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。そのほかのメッセージが表示された場合は、「メッセージが表示されたとき」（p.65）をご覧になり、対処してください。

3 Windowsが起動したら、「スタート」をクリックし、▶をクリック

4 「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコン本体の電源スイッチを押し続けてください。

VALUESTARで、上記の操作でも電源が切れないときは、いったんパソコン本体とディスプレイの電源コードを電源コンセントから抜いて、90秒以上待ってから電源コンセントに入れなおしてみてください。

それでも症状が改善しない場合は、NEC 121コンタクトセンター(p.122)へお問い合わせください。

「ソフト＆サポートナビゲーター」で調べる

パソコンが使える状態なら「ソフト＆サポートナビゲーター」でトラブル解決。

トラブルが起きたときに、パソコンが使える状態なら「ソフト＆サポートナビゲーター」で対処法を調べてみましょう。
「ソフト＆サポートナビゲーター」では、トラブル解決のためのQ&A一覧のほかにも、NECのサポートやサービスの情報も書かれています。
また、画面上部の検索機能を使えば、探したい項目をキーワードや文章で検索できるので、効率よく情報を探すことができます。

「ソフト&サポートナビゲーター」を起動する

1 デスクトップの をダブルクリック

「ソフト＆サポートナビゲーター」が起動します。

2 「困った」をクリック

3 見たい項目をクリックして、トラブル解決法を探す

●ソフト&サポートナビゲーターを検索する

「ソフト＆サポートナビゲーター」で知りたい項目がなかなか見つからないときは、質問文を入力して検索することができます。

検索方法について詳しくは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフト＆サポートナビゲーターについて」-「本ソフトの使い方」-「知りたいことを検索する方法」をクリックしてください。

「ソフト&サポートナビゲーター」の「困った」

「ソフト&サポートナビゲーター」の「困った」では、次の内容について説明しています。

- 困ったときには
- 突然、画面が表示された
- 電源と起動
- キーボード・マウス
- Windows 操作・設定
- インターネット・ネットワーク
- 音・画像・映像
- 印刷・プリンタ
- ハードウェア・システム設定
- セキュリティ
- ソフト（アプリケーション）
- 知っておくと便利
- NEC のサービス&サポート

Windowsやソフトのヘルプを利用する

Windowsの「ヘルプとサポート」や各ソフトのヘルプにもトラブル解決の情報が記載されている場合があります。必要に応じて利用してください。

Windowsの「ヘルプとサポート」は、「スタート」-「ヘルプとサポート」をクリックして起動します。

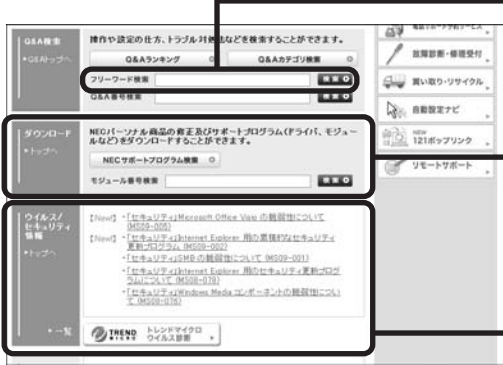
各ソフトのヘルプは、画面上の「?」や「ヘルプ」をクリックして起動します。

インターネットでトラブルの事例を探す

インターネットが使える状態なら、NECの「121ware.com」でトラブル解決の方法を探せます。

NECの「121ware.com」は、あなたのパソコンライフに合わせたサービスを提供するホームページです。サポート情報も日々更新されているので、トラブル解決のために有効に活用してください。

●まず、お客様登録をしてください

お客様登録をして、あなたが持っている製品（保有商品）を登録すると、121ware.comであなたの持っている製品に適したサポート情報が見られるようになります。また、121コンタクトセンターに電話するときにも、121wareお客様登録番号が必要です。

・登録する方法は、『121ware ガイドブック』をご覧ください。
121ware.com の「マイページ」（http://121ware.com/my/）からの登録をおすすめします。
・FAXで登録した場合は、再度、「マイページ」で「インターネット以外の方法でご登録済みの方はこちら」をクリックしてログイン ID を取得する必要があります。

121ware.com の「マイページ」
http://121ware.com/my/

●121ware.comのサポートコーナーを見る

「サービス＆サポート」（http://121ware.com/support/）を見てください。製品の最新情報や流行しているコンピュータウイルス情報など、いろいろなサポート情報を見ることができます。

フリーワード検索に、知りたいことを文章や単語で入力して、「検索」をクリックする。

NECサポートプログラム（ドライバやモジュールなど）を「商品の型番」、「商品のシリーズ（機種）」、「モジュール番号」から検索し、ダウンロードすることができます。※

「ウイルス / セキュリティ情報」では、流行しているコンピュータウイルスなどの情報を見ることができます。

サポートのコーナー「サービス＆サポート」
http://121ware.com/support/

「マイページ」で保有商品を登録すると、このコーナーが表示されます。
「ご登録商品の詳細情報」をクリックすると、あなたが持っている製品に関する情報が表示されます。

121ware.comの「マイページ」
http://121ware.com/my/

※：対象機器のBIOSやドライバなどプログラムの修正モジュールの適用に関しては、インストール手順をよく読んで十分注意して実施願います。なお、修正モジュールの適用はお客様の責任で実施願います。万が一、インストールに失敗して対象機器が正常に動作しなくなった場合、弊社にて修理（有償）を承っております。

インターネットのトラブル解決

インターネットのトラブルの原因はいろいろなケースがあります。まずは、怪しいポイントを順番にチェックしましょう。

まず、はじめてインターネットにつなごうとしたがうまくいかなかった場合について説明します（今までつながっていたが、つながらなくなった場合は、次のページをご覧ください）。

はじめて設定したが、つながらない

『準備と設定』で機器の接続が正しいか確認してください。

ワイヤレスLANを使っているときは、電波が届いていない場合があります。パソコンの位置を変えてみてください。また、ワイヤレスLAN機能がオンになっているか確認してください。

参照

・インターネットの接続について→『準備と設定』の「第5章　これからインターネットを始めるかたへ」

・インターネットのトラブル解決→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「インターネット・ネットワーク」

接続に問題がないときは、回線業者やプロバイダの資料をご覧になり、次の点を確認してください。

・契約は済んでいるか。
・回線の開通日になっているか。
・設定は間違っていないか。　　…など

これらの方法を試してもつながらない場合は、回線業者やプロバイダに問い合わせてください。

今までつながっていたのに、つながらなくなった

今までつながっていたのに、インターネットにつながらなくなったときは、直前におこなったことが原因の可能性があります。
直前に何かおこなったときは、それに関わる部分をチェックしてください。

ワイヤレスLANを使っているときは、電波が届いていない場合があります。パソコンの位置を変えてみてください。また、ワイヤレスLAN機能がオンになっているか確認してください。
次のような状態は、電波の影響を受けやすいので避けてください。

- **パソコンやワイヤレスLANのアクセスポイントがスチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある場合**
- **周囲で2.4GHz帯（2.4～2.4835GHz）を使用する機器（Bluetooth機器、電子レンジなど）を使用している場合**

インターネットの設定を変えてしまったときは

『準備と設定』、またはプロバイダや回線業者の資料をご覧になり、インターネットの設定が変わっていないか確認してください。

- **設定を直接変更していなくても、ソフトのインストールなどで変わってしまうこともあります。**
- **設定を確認した後、パソコンやルータなどの電源を入れなおすと、設定が更新されてトラブルが解決することがあります。**
- **「システムの復元」によって、トラブルが発生する前の状態に戻せることがあります（p.83）。**

参照

- インターネットの接続について→『準備と設定』の「第5章　これからインターネットを始めるかたへ」
- インターネットのトラブル解決→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「インターネット・ネットワーク」

プロバイダや回線業者の障害やメンテナンスで、一時的に接続できないこともあります。

事前にメールなどで通知が来ていないか確認してください。

これらの方法を試してもつながらない場合は、回線業者やプロバイダに問い合わせてください。

テレビに関する トラブルのとき

テレビが映らないなど、テレビに関する トラブルは『テレビを楽しむ本』で解決。

テレビに関するトラブルは、テレビの設定の方法を見ながら操作したほうがよいことが多いので、『テレビを楽しむ本』というテレビ機能を説明したマニュアルにまとめて記載されています。

『テレビを楽しむ本』のQ&A

・テレビに関して何か問題があるとき
・テレビを見ているときに問題が起きたとき
・視聴予約や録画予約ができないとき
・番組表の受信がうまくいかないとき　など

上記のようなトラブルの場合は、
『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

その他の解決法

今まで紹介したほかにも、いろいろなところでトラブル解決のヒントを手に入れられます。

ソフトや周辺機器を使っているときに起きた問題は、それらの製品のマニュアルやホームページにも、トラブルの解決法が書かれていることがあります。
ホームページには最新の情報が出ていることが多いので、チェックしておくと、トラブルの解決に役立ちます。ホームページのトラブル解決法は「Q&A」、「FAQ」、「トラブルシューティング」、「困ったときには」などの名前のコーナーによく書かれています。
書籍や雑誌も役に立ちます。専門的な分野のトラブルは専門書や専門誌、専門のホームページも調べてみましょう。

もしものときに備えて(バックアップ)

トラブルが起きたときに備えて、大切なデータは控えを取っておきましょう。

ハードディスクの故障やウイルスの感染など、パソコンに大きなトラブルが起こると、保存していたデータが壊れたり消えてしまったりすることがあります。
もしものときに備えて、データの控えを残しておきましょう。このデータの控えのことを「バックアップ」と呼び、バックアップを作成することを「バックアップする」、「バックアップを取る」といいます。

バックアップに使用するソフト	バックアップできるデータ
バックアップ・ユーティリティ	・自分で作成したデータなど(著作権が保護されているデータ以外) ・インターネット設定など、一部の設定
Roxio BackOnTrack	ハードディスク全体、または個々のドライブ全体 (著作権が保護されているデータも含む)
Roxio BackOnTrack (インスタントリストア)	パソコンのシステムデータ(Windowsのシステム関連およびソフトのプログラム関連ファイル) (上記以外のデータはバックアップされないが、復元後そのまま利用可能)
FlyFolder	自分で作成したデータなど(著作権が保護されているデータ以外)
バックアップレンジャー	自分で作成したデータなど(著作権が保護されているデータ以外)
著作権保護データを扱うソフト	各ソフトが扱うデータ(著作権が保護されているデータも含む)

バックアップ用のソフトを使ってバックアップを取る

このパソコンに搭載されたバックアップ用のソフトを使って、バックアップを取ることができます。

自分で作成したデータやインターネットの設定などをバックアップしたいとき

●バックアップ・ユーティリティ

デジタルカメラの写真やワープロソフトで作った文書など自分で作成したデータ、およびインターネットの設定の一部を、バックアップすることができます。
パソコン購入時に添付されていたソフトについて、作成したデータのほとんどがバックアップできます(著作権保護されたデータを扱うソフトを除く)。
どのソフトのデータがバックアップされるかは、バックアップ・ユーティリティの画面上で確認できます。また、自分で購入したソフトのデータもバックアップ・ユーティリティに登録することで、バックアップ・ユーティリティのバックアップ対象とすることができます。
標準の状態では、パソコンのハードディスク内にあるDドライブという場所にデータの控えが作成されます。必要に応じて、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどにもバックアップを取っておくことをおすすめします。
操作については、「バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する」(p.20)をご覧ください。

- テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、「バックアップ・ユーティリティ」を使ってバックアップすることができません。
  著作権が保護されたデータのバックアップまたは退避については、録画や購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。
  テレビ番組の録画データについては、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。
- 自分で購入してインストールしたソフトのデータは、バックアップ・ユーティリティに登録しない限り、バックアップされません（インストール時にバックアップ・ユーティリティに自動的に登録されません）。
  自分で購入したソフトのデータは、エクスプローラなどを使って自分でデータをコピーするか、バックアップ・ユーティリティのバックアップ対象データとして登録してください。

ハードディスクの内容を丸ごとバックアップしたいとき

●Roxio BackOnTrack

指定したハードディスクドライブ全体を、パソコンのハードディスク内にあるほかのドライブや、DVD-Rなどのディスクにバックアップすることができます。また、そのデータから、もとの状態に復元することもできます。

インターネットやメールの設定、ソフトの設定など、すべての状態を丸ごとバックアップ/復元できます。DVD-Rや外付けハードディスクにバックアップしたときは、パソコンのWindowsが起動しない状態でも、使っていた環境を復元することができます。

パソコンをセットアップしたばかりの状態やシステムを大きく変更したときの状態を、そのまま保存しておく、という使い方も便利です。

操作については、「Roxio BackOnTrackでバックアップ/復元する」（p.27）をご覧ください。

システムのみをバックアップしたいとき

●Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）

Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）は、定期的にパソコンのシステム（Windowsのシステム関連やソフトのプログラム関連ファイルなど）の状態を保存し、必要に応じてシステムを復元できるソフトです。バックアップしたデータが複数あるときは、データを指定して復元することもできます。

システムに障害が起こってパソコンが起動できなくなったときでも、バックアップしたデータを使って復元することができます。

Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）で復元するときは、システム関連データのみがもとに戻されるため、ユーザーが作成したデータは影響を受けず、そのまま利用することができます。システム関連データのみをCドライブに保存するため、ハードディスクの内容を丸ごとバックアップする場合と比べて、バックアップデータが少なく、復元も短時間でおこなうことができます。
操作については「Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）でバックアップ/復元する」（p.35）をご覧ください。

- **Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）をインストールすると、「システムの復元」機能（システム回復オプションに表示される「システムの復元」を含む）が無効となり、利用できなくなります。**
  Windowsの復元機能について詳しくは、Windowsのヘルプまたは「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「Windowsの操作」-「システムの状態を復元する」をご覧ください。
- **復元するためにはパソコンが正常に動作しているときにバックアップを取っておく必要があります。このため、コンピュータウイルスに感染した時期やシステムが不安定になった時期がわからないとき、また、システムの不具合の原因がわからないときなどは、Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）を使用してもシステムを正常な状態に復元できないことがあります。このような場合は、パソコンを再セットアップ（p.86）してください。なお、再セットアップにはバックアップ・ユーティリティによるバックアップデータが必要になります。**

ネットワークサーバやハードディスクなどに自動でバックアップしたいとき

●FlyFolder

ドキュメントフォルダやピクチャフォルダなど、任意のフォルダ内のデータを自動でバックアップできるソフトです。バックアップ先には、ハードディスクやメモリーカードのほかに、ネットワーク上の別のパソコンを選ぶことができます。指定したフォルダに自分で作成したデータを保存したり、そのデータを更新するたびに、バックアップ先に自動的にバックアップデータが作成されます。
ネットワーク上にデータを保存することができるため、パソコン買い替え時のデータ移行に便利です。また、複数のパソコンでネットワーク上のデータを共有することもできます。
操作については、「FlyFolderでフォルダを指定してバックアップする」（p.39）をご覧ください。

テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、「FlyFolder」を使ってバックアップすることができません。
著作権が保護されたデータのバックアップまたは退避については、録画や購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。
テレビ番組の録画データについては、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

著作権が保護されたデータのバックアップを取る

テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「バックアップ・ユーティリティ」や「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。
録画や購入に使用したソフトを使ってバックアップしてください。

テレビ番組を録画したデータをバックアップしたいとき

デジタルハイビジョンTVモデルの場合は、SmartVisionを使ってDVDなどに保存してください。操作については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

購入した音楽データをバックアップしたいとき

●BeatJam
BeatJamなどのデータのバックアップや退避については、購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、この方法ではコピー（バックアップ）できません。
録画や購入に使用したソフトを使ってバックアップしてください。

そのほかのバックアップ方法

そのほか、このパソコンでは次のようなバックアップ方法も利用できます。

・Windowsの「バックアップと復元センター」を使う
　コントロールパネルの「バックアップと復元センター」で、ファイルやフォルダを、バックアップしたり復元したりすることができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

・「バックアップレンジャー」を使う
　再セットアップ中に「バックアップレンジャー」を使ってバックアップを取ることができます。詳しくは、第3章の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.113)をご覧ください。

バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する

「バックアップ・ユーティリティ」を使って、自分で作成したデータやインターネットの設定などをバックアップすることができます。

バックアップを取る

ここでは「バックアップ・ユーティリティ」を使って、自分で保存したデータやインターネットに関する一部の設定のバックアップを取る手順について説明します。

このパソコンには、このソフトのほかに、ハードディスクドライブ全体のバックアップを取る「Roxio BackOnTrack」というソフト（p.27）が搭載されています。必要に応じて使い分けてください。なお、「Roxio BackOnTrack」は、ハードディスクドライブを丸ごとバックアップするため、パソコンが正常に動作しているときにバックアップを取っておく必要があります。

- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- バックアップは、定期的に取ることをおすすめします。「バックアップ・ユーティリティ」には、自動的にバックアップを取る機能があります。詳しくは、バックアップ・ユーティリティのヘルプをご覧ください。
  バックアップするデータの量によって、バックアップにかかる時間が異なります。動画などサイズの大きなデータが含まれる場合はバックアップに時間がかかります。
  バックアップの予定時刻には、ほかのソフトを起動しないようにしてください。なお、デジタルハイビジョンTVモデルでは、録画予約の時間、番組表の受信時刻とバックアップの時間が重ならないように注意してください。
- バックアップ・ユーティリティでバックアップしたデータは、このパソコンでのみ復元できます。

1 デスクトップ画面の![icon]（ソフト＆サポートナビゲーター）をダブルクリック

2 「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「バックアップ・ユーティリティ」の「ソフトを起動」をクリック

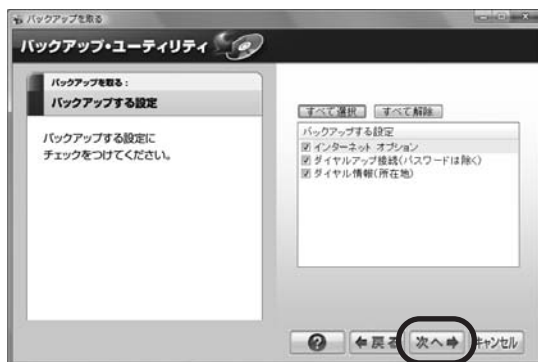
3 「バックアップを取る」をクリック

「バックアップ・ユーティリティのご紹介」が表示された場合は、内容を読んで「閉じる」をクリックしてください。

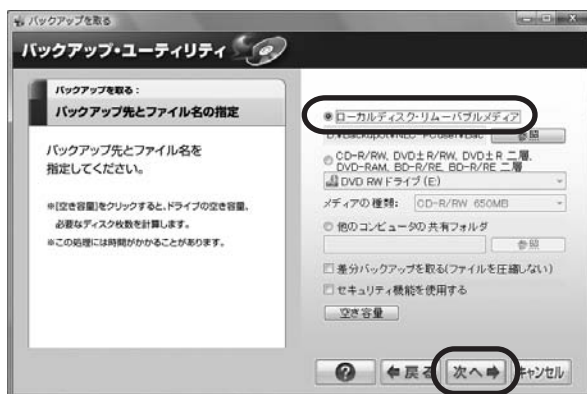
4 「バックアップタイトル」のすべてに☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

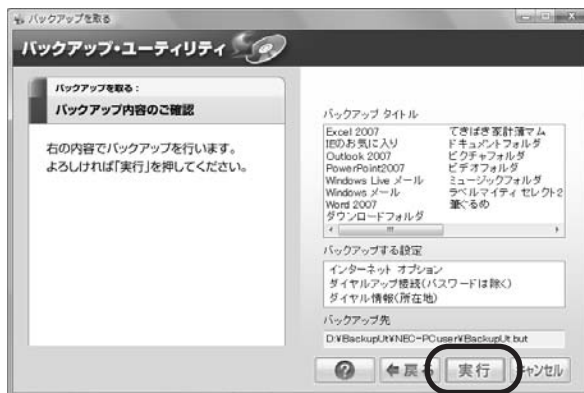
が付いていないときは、「すべて選択」をクリックしてください。

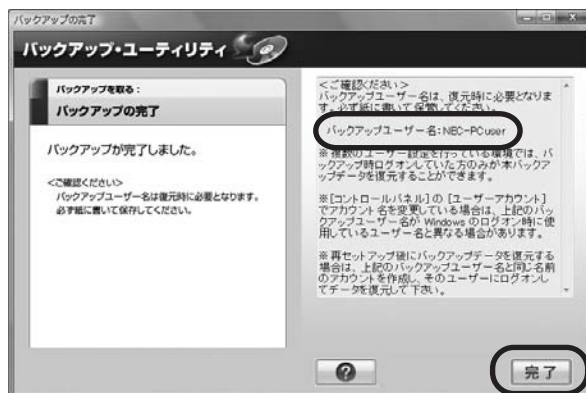
バックアップが取れるのは、この画面で☑が付いているデータだけです。この画面で、「追加」をクリックすると、自分で購入したソフトなど、パソコン購入時に添付されていたソフト以外のデータをバックアップ対象に登録できます。ただし、テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「バックアップ・ユーティリティ」を使ってバックアップを取ることができません。録画や購入に使用したソフトを使ってバックアップしてください。

5 「バックアップする設定」のすべてに☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

が付いていないときは、「すべて選択」をクリックしてください。

バックアップが取れるのは、この画面で☑が付いている設定だけです。

6 「ローカルディスク・リムーバブルメディア」が◉になっていることを確認して、「次へ」をクリック

- 標準の状態では、パソコンのハードディスク内にあるDドライブという場所にデータの控えが作成されるようになっています。再セットアップの際にCドライブの領域を変更する場合には、Dドライブのデータも消えてしまうため、CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RWなどのディスク、またはほかのパソコンにデータのバックアップを取る必要があります。バックアップ先を変更するには、「バックアップ先とファイル名の指定」の画面でバックアップ先の場所を指定します。
- セキュリティ機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。

7 バックアップする内容を確認して、「実行」をクリック

バックアップが始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

8 「バックアップの完了」が表示されたら、バックアップユーザー名を控えてから「完了」をクリック

9 「バックアップ・ユーティリティ」の画面右下の「閉じる」をクリック

・Dドライブにバックアップを取った場合は、バックアップが成功すると「D:¥BackupUt¥（ユーザー名）」フォルダに「BackupUt.but」というファイルが作られます。（ユーザー名）には、バックアップを取ったユーザーの名前が入ります。
・家族など、複数のユーザーでこのパソコンを共有している場合、ユーザーの人数分だけバックアップが必要です。「スタート」- -「ユーザーの切り替え」の順にクリックして、ユーザーごとにバックアップの手順を繰り返してください。このとき、標準ユーザーのバックアップは、管理者ユーザーが取ってください。

・DVDやCDにデータのバックアップを取る場合や、セキュリティ機能を使用してバックアップを取ったデータを参照・復元する場合、ハードディスクに一時的にデータをコピーする必要があります。そのため、バックアップを取ったデータのサイズに応じて、ハードディスクに最大50Gバイトの空き容量が必要です。

・「バックアップ・ユーティリティ」でバックアップを取ったデータは、パソコンを再セットアップしたら、すぐに復元してください。復元が遅れると、再セットアップ以降に作成されたデータが失われることがあります。

・「バックアップ・ユーティリティ」について詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「バックアップ・ユーティリティ」をご覧ください。

・障害によりWindowsが起動しないときは「バックアップレンジャー」を使ってバックアップを取ることができます。詳しくは第3章の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」（p.113）をご覧ください。

バックアップしたデータを復元する

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

1 デスクトップ画面の（ソフト&サポートナビゲーター）をダブルクリック

2 「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「バックアップ・ユーティリティ」の「ソフトを起動」をクリック

3 「バックアップを復元する」をクリック

4 「バックアップファイル」を指定して、「次へ」をクリック

「参照」をクリックして、バックアップデータを保存したドライブやフォルダ（標準の状態では「ローカルディスク（D:）」）にある、拡張子に .but が付いたファイルを選んで「開く」をクリックしてください。

5 「復元するタイトルの選択」と表示されたら、「すべて選択」をクリックして、「次へ」をクリック

6 「復元する設定」と表示されたら、「すべて選択」をクリックして、「次へ」をクリック

7 「復元内容のご確認」と表示されたら、内容を確認して、「実行」をクリック

8 「復元の開始」画面で「はい」をクリック

データの復元が始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

9 「復元の完了」と表示されたら「完了」をクリック

10 「設定の変更」が表示された場合は、「はい」をクリックしてパソコンを再起動する

これで、バックアップ・ユーティリティで作成したバックアップデータによる復元は完了です。

Roxio BackOnTrackでバックアップ/復元する

Roxio BackOnTrack でバックアップする前に

Roxio BackOnTrack というソフトを使うと、ハードディスクを丸ごとバックアップ/復元することができます。インターネットやメールの設定、壁紙、自分でインストールしたソフトなど、さまざまに設定をおこなった状態をそのままバックアップ/復元することができるので便利です。
なお、バックアップにはおおよそ5〜6時間程度かかります（モデルやディスクの使用量、その他の条件によって時間は異なります）。ディスクの使用容量によってはさらに時間がかかることもあります。バックアップする際には、十分な時間を確保してください。

ハードディスク全体をバックアップ/復元する方法と、C ドライブや D ドライブなどの領域を個別にバックアップ/復元する方法の 2 種類があります。

- **復元するためには、パソコンが正常に動作しているときにバックアップを取っておく必要があります。**
- **バックアップを取るには、管理者権限を持つユーザーでログオンする必要があります。**
- **Roxio BackOnTrackでバックアップしたデータは、このパソコンでのみ復元できます。**

準備すること

● DVD-R/+R などのディスクを用意する

ハードディスク全体をバックアップする場合、または C ドライブなどの領域をディスクにバックアップする場合は、バックアップを取るためのディスクを用意してください。
使えるディスクは DVD-R/+R、DVD-R/+R（2 層）、DVD-RW/+RW、DVD-RAMです。ブルーレイディスクドライブモデルではBD-R、BD-REも使えます。
バックアップに必要なディスクの枚数は、バックアップの方法やデータ量により異なります。必要な枚数の目安は次のとおりです。

■ハードディスク全体をバックアップする場合（p.29）

・DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-R/+R（2 層）…10 枚程度
・BD-R/RE…4 枚程度

■C ドライブまたは D ドライブの領域をバックアップする場合（p.31）
10G バイトのバックアップデータを保存するのに必要な枚数
・DVD-R/RW、DVD+R/RW…2 枚程度
・DVD-R/+R（2 層）、BD-R/RE…1 枚程度

ただし、データ量により必要な枚数は変わりますので、ディスクは余裕を持って用意してください。

DVD/CD ドライブの種類により、使用できるディスクは異なります。ご購入のパソコンに搭載されているDVD/CDドライブの仕様につきましては『本製品の仕様について』など、仕様一覧が掲載されているマニュアルをご覧ください。

●ほかのソフトなどが起動しないようにする

・スクリーンセーバーが起動しないようにする
次の手順で設定を変更します。
1.「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
2.「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
3.「スクリーンセーバーの変更」をクリック
4.「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
5.「コントロールパネル」の x をクリック

・起動中のソフトをすべて終了する（ウイルス対策ソフトなどを含む）
終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

・デジタルハイビジョンTVモデルでは、録画予約の時間、番組表の受信時刻とバックアップの時間が重ならないようにする
予約の確認や取り消し方法については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

●ネットワークから切断する
安全にバックアップをおこなうためには、ネットワークから切断する必要があります。

参照

・LAN から切断する→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「LAN」-「ネットワークの設定」-「ネットワークから切断する」

・無線 LAN から接続する→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「ワイヤレス LAN（無線 LAN）」-「ワイヤレス LAN の設定」-「ネットワークから切断する」

ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

ハードディスク全体をバックアップする

1 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「Roxio BackOnTrack」の「ソフトを起動」をクリック

・手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

・「製品の登録」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

2 画面左のメニューで「災害リカバリ」をクリック

3 「ドライブ バックアップ」をクリック

4 「災害リカバリ セット」を選択し、「ドライブの選択」でDVD/CDドライブが選択されているのを確認して画面右下の をクリック

途中で確認の画面が表示されたら、画面の指示をよく読んで操作してください。

5 用意したDVDなどのディスクをDVD/CDドライブにセットして「OK」をクリック

バックアップが始まります。

以降は、画面の指示をよく読んで操作してください。

6 バックアップが完了したら、必要に応じて再セットアップディスクを作成する

作成したバックアップディスクを使ってハードディスク全体を復元するには、再セットアップディスクも必要になります。「再セットアップディスクを作成する」（p.104）をご覧になり、あらかじめ作成しておいてください。

C ドライブまたは D ドライブの領域をバックアップする

C ドライブまたは D ドライブの領域を個別にバックアップします。

1 「ハードディスク全体をバックアップする」(p.29) の手順3までをおこなう

2 バックアップしたいドライブを選択する

3 「ドライブの選択」でバックアップ先を指定する

DVD などのディスクのほかに、バックアップする以外の領域（たとえばCドライブをバックアップする場合は D ドライブ）を選択することもできます。外付けハードディスクを接続している場合は外付けハードディスクにバックアップすることもできます。

バックアップに必要なドライブの空き容量やディスクの枚数は、データ量により異なります。

4 画面右下の をクリック

バックアップが始まります。
以降は、画面の指示をよく読んで操作してください。

C ドライブまたは D ドライブの領域を復元する

Roxio BackOnTrack でバックアップを作成した時点の状態に復元します。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F11】を何度か押す

3 「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されたら「ハードディスクをバックアップ時の状態に戻す」をクリック

「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されずに、通常のWindowsデスクトップ画面が表示されてしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 表示された画面で「個々のボリュームリカバリ」を選択して「次へ」をクリック

5 「参照」をクリックして復元したいバックアップファイルを選択する

DVD などのディスクにバックアップした場合は、ディスクを DVD/CD ドライブにセットして、バックアップファイルを選んでください。

「参照」をクリックしたときに表示されるドライブ番号（各ドライブに割り当てられる（D:）や（E:）などの英文字）が、通常の手順で Windows Vista を起動したときと異なることがあります。
例：ローカルドライブ（D:）→ローカルドライブ(E:)
　　DVD DRIVE（E:）→ DVD DRIVE（F:）
なお、ドライブ番号は変わっても、ドライブに付けられた名前（上の例では「ローカルドライブ」や「DVD DRIVE」など）は通常の起動時と同じです。ドライブの名前を確認して、バックアップしたデータが保存されているドライブを探してください。

6 復元する領域を選択する

Cドライブを復元する場合は「ハードディスク1、パーティション2」を選んでください。

Dドライブを復元する場合は「ハードディスク1、パーティション3」を選んでください。

7 「次へ」をクリック

以降は、画面の指示をよく読んで操作してください。

Dドライブを復元する場合は、Windowsを起動して、Roxio Back OnTrackで「ドライブ リストア」の操作をおこなっても復元できます。詳しくは、Roxio BackOnTrackのヘルプをご覧ください。

ハードディスク全体を復元する

Roxio BackOnTrackでバックアップを作成した時点の状態に復元します。

ハードディスク全体を復元するときは、「ハードディスク全体をバックアップする」(p.29)で作成したバックアップディスクと、「再セットアップディスク」(p.103)が必要です。

参照

再セットアップディスクについて→第3章の「再セットアップディスクを作成する」(p.103)

- Roxio BackOnTrackでバックアップした時点以前に戻したい場合は、再セットアップ(p.86)をおこなってください。
- Roxio BackOnTrackなどでDドライブをまるごとバックアップ/復元した場合も録画番組データはそのまま利用できますが、SmartVision上で消去したデータは、復元後、データがDドライブに復元されても利用できません。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする

3 「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されたら「ハードディスクをバックアップ時の状態に戻す」をクリック

ディスクを交換するように指示が表示されたら、画面の指示に従ってディスクを順番にセットしてください。

「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されずに、通常のWindowsデスクトップ画面が表示されてしまったときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

4 表示された画面で「災害リカバリ」を選択して「次へ」をクリック

5 再セットアップディスクを取り出し、作成したバックアップディスクをセットする

6 「参照」をクリックして復元したいバックアップファイルを選択し、「次へ」をクリック

以降は、画面の指示をよく読んで操作してください。

Roxio BackOnTrack(インスタントリストア)でバックアップ/復元する

Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）でバックアップする前に

Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）を使うと、定期的にWindowsのシステムを自動バックアップすることができます。また、必要に応じて、そのバックアップデータを使ってシステムを復元することができます。
バックアップしたデータが複数あるときは、データを指定して復元することもできます。
Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）を使った復元では、Windowsのシステム以外のデータは影響を受けません。このため、ユーザーが作成したデータなどは復元後もそのまま利用できます。また、システムに障害が起こってパソコンが起動できなくなったときでも、バックアップしたデータを使って復元することができます。

- **Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）をインストールすると、「システムの復元」機能（システム回復オプションに表示される「システムの復元」を含む）が無効となり、利用できなくなります。**

  Windowsの復元機能について詳しくは、Windowsのヘルプまたは「ソフト&サポートナビゲーター」-「使う」-「Windowsの操作」-「システムの状態を復元する」をご覧ください。
- **定期的に自動バックアップをおこなうため、バックアップしたデータの保存用として、常に若干のハードディスク領域を占有します。**
- **自分で作成した文書や保存した写真のデータなどのユーザーデータはバックアップしません。**
- **Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）でバックアップしたデータは、このパソコンでのみ復元できます。**

システムをバックアップする

Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）をインストールして自動バックアップ

ご購入時の状態ではインストールされていません。
次の手順でインストールしてください。インストールするだけで、定期的にシステムの状態を自動バックアップします。

- **手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。**
- **「製品の登録」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。**

1 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）」の「ソフトを起動」をクリック

「BackOnTrack（インスタントリストア）」のインストール画面が表示されます。
以降は画面の指示にしたがって、インストールしてください。

インストールが完了すると再起動し、その後、自動的にシステムの状態を保存（バックアップ）します。
ご購入時の状態であれば、これ以降、1週間ごとに、自動的にシステムをバックアップするよう設定されます。バックアップされたデータは、60日以上経過したものから順に自動的に削除されます。

■システムをバックアップするタイミングを変更するときは

1. 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）」の「ソフトを起動」をクリック
2. オプション をクリックして表示される画面で左側の欄から「インスタントリストア」-「インスタントリストアオプションを編集」をクリック
3. 表示された画面で設定を変更する

詳しくはヘルプをご覧ください。

任意のタイミングで手動バックアップ

Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）がインストールされた状態で、システムを手動でバックアップするときは、次の手順で操作してください。

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）」の「ソフトを起動」をクリック

「BackOnTrack（インスタントリストア）」の画面が表示されます。

次の欄に現在の状態について入力しておくことをおすすめします。入力した内容は、システムを復元する際の参考となります（256文字まで入力できます）。

コンピュータの現在の状態に関する簡単な説明を入力してください

2 「状態を保存」が選択されていることを確認して、画面右下の をクリック

システムのバックアップが始まります。

以降は、画面の指示をよく読んで操作してください。保存が終了すると「状態を保存」と表示されるので、「完了」をクリックしてください。

システムを復元する

次の手順で操作してください。

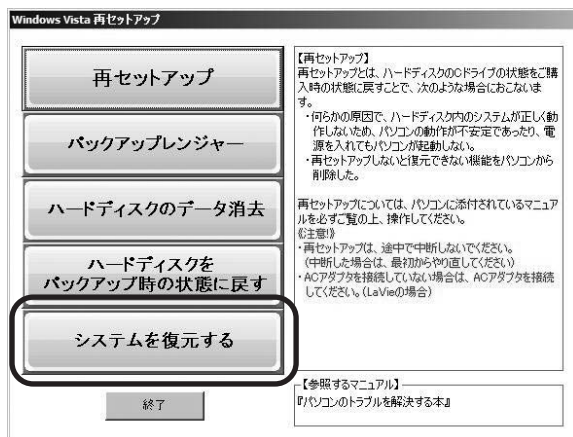
- LaVieの場合は操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。
- ここでは、パソコンのハードディスクから「Windows Vista再セットアップ」を起動してシステムを復元する操作について説明しています。
  再セットアップディスクを作成してある場合は、再セットアップディスクから「Windows Vista再セットアップ」を起動することもできます。その場合は、次の操作の手順1～3を、第3章の「再セットアップディスクを使った再セットアップ手順」（p.111）の手順1～4と読み替えてください。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F11】を何度か押す

4 **「Windows Vista 再セットアップ」の画面が表示されたら、「システムを復元する」をクリック**

「Windows Vista 再セットアップ」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

Roxio BackOnTrack(インスタントリストア)がパソコンから削除されていると、エラーメッセージが表示されます。

5 **「Roxio BackOnTrack」の画面が表示されたら「リストア」をクリックし、「以前の状態」より復元したい状態を選んで「次へ」をクリック**

以降は、画面の指示をよく読んで操作してください。

6 **「コンピュータのリストアが完了しました」と表示されたら、「終了」をクリック**

7 **「「システムを復元する」を終了しました。」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック**

パソコンが再起動したら、復元は完了です。

FlyFolderでフォルダを指定してバックアップする

「FlyFolder」を使って、任意のフォルダのファイルを自動的にバックアップすることができます。
指定したフォルダに自分で作成したデータを保存したり、そのデータを更新するたび、バックアップ先のハードディスクなどにバックアップデータが作成されます。

バックアップするフォルダを指定する

ここでは、「FlyFolder 設定ツール」を使って、バックアップ先のフォルダ、およびバックアップの対象となるフォルダとファイルの種類を設定する操作について説明します。

- **手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。**
- **ここでは、パソコンのDドライブにバックアップする操作を例に説明しています。設定によっては、ネットワーク上の別のパソコンやメモリーカードなどにバックアップを取ることもできます。詳しくは、FlyFolderのヘルプをご覧ください。**
- **FlyFolderを搭載した複数のパソコンで同じバックアップ設定をしておけば、各パソコンのデータを共有することもできます。詳しくは、FlyFolderのヘルプをご覧ください。**

あらかじめ、バックアップしたデータを保存するためのフォルダ（バックアップ先フォルダ）を、エクスプローラなどで作成しておいてください。
また、必要に応じて、そのフォルダにアクセス制限を設定しておいてください。

1 **デスクトップ画面の（ソフト＆サポートナビゲーター）をダブルクリック**

トラブル解決の方法

2 「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「FlyFolder」の「ソフトを起動」をクリック

「FlyFolder 設定ツール」が起動します。

3 「次へ」をクリック

バックアップ先のフォルダに関する設定画面が表示されます。

4 バックアップ先のフォルダに関する設定をする

- Windowsの起動ドライブにあるフォルダは、バックアップ先フォルダとして設定できません。
- ユーザー名とパスワードは、バックアップ先のフォルダに設定されたアクセス制限の内容に合わせて入力してください。
- ここでは、パソコンのDドライブにバックアップを取るときの設定項目について説明しています。ネットワーク上の別のパソコンなど、Dドライブ以外の場所にバックアップを取るときの設定項目や注意事項については、FlyFolderのヘルプをご覧ください。

① バックアップ先フォルダを設定する

「フォルダ名」にバックアップ先のフォルダ名をパスも含めて入力してください。

「参照」をクリックしてフォルダを選ぶこともできます。

② ユーザー名とパスワードを設定する

バックアップ先のフォルダにアクセス制限が設定されているときは、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力してください。

③「次へ」をクリックする

バックアップ設定の削除に関するメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認し「OK」をクリックしてください。

「バックアップ タイトル」の一覧が表示されます。

5 「バックアップタイトル」のすべてに☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

☑が付いていないときは、「すべて選択」をクリックしてください。

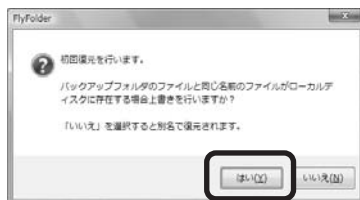
バックアップが取れるのは、この画面で☑が付いているデータだけです。この画面で、「新しいバックアップタイトルの追加」をクリックすると、自分で購入したソフトなど、パソコン購入時に添付されていたソフト以外のデータをバックアップ対象に登録できます。ただし、テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。録画や購入に使用したソフトを使ってバックアップしてください。

再起動を促す画面が表示されます。

6 「今すぐ再起動」をクリック

Windows が再起動します。
再起動後、設定した内容にしたがってバックアップがおこなわれ、その後、「初回復元を行います。」というメッセージが表示されます。

7 表示された内容を確認し、「はい」（または「いいえ」）をクリック

通常は「はい」を選んでください。初回復元で同じ名前のファイルを上書きしたくないときは、「いいえ」を選んでください。

初回復元(バックアップ先のファイルとバックアップ元のファイルの照合と復元）がおこなわれます。これで、FlyFolder の設定が完了しました。

- **設定が完了すると、設定された内容にしたがって自動的にファイルのバックアップがおこなわれます。**
- **必要に応じて、FlyFolderのバックアップや復元を手動でおこなうこともできます。詳しくは、FlyFolder のヘルプをご覧ください。**

第2章

トラブル解決Q&A

ここでは、パソコンの電源が入らないときなど、ソフト&サポートナビゲーターや121ware.comでトラブルの原因を探せないときのQ&Aを紹介しています。

※テレビの視聴に関するQ&Aは、『テレビを楽しむ本』の「Q&A」をご覧ください。

パソコンの様子がおかしいとき

Q パソコンの様子がおかしい

煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱いとき、パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じたとき

すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリを外して（LaVie のみ）、NEC 121 コンタクトセンター（p.122）にお問い合わせください。
電源が切れないときは、本体の電源スイッチを４秒以上押し続けてください。

Q ピーッというエラー音がした

もしフロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。セットされているフロッピーディスクの種類によっては、ピーッというエラー音がすることがあります。
または、ハードディスクの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NEC 121 コンタクトセンター（p.122）へお問い合わせください。

Q パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、何も作業をしていないのに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題はありません。
ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、データの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、アクセス音が長く続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを実行してください。
（データの断片化とは、ハードディスク上のデータの配置が不連続になり、空きスペースが細かく分かれてしまった状態をいいます）
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NEC 121 コンタクトセンター（p.122）にお問い合わせください。

Q ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン（換気装置）があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
あまりにも異常な音がするときは、NEC 121 コンタクトセンター（p.122）へお問い合わせください。

Q 急に動かなくなった、フリーズした

画面が突然真っ暗になった

「ディスプレイ（画面）に何も表示されない」（p.57）をご覧ください。

画面は映っているが何も反応しない

動作が止まっているように見えても、実はパソコンの処理に時間がかかっているだけということがあります。画面の表示状態やアクセスランプが点灯していないかなどをよく確認しましょう。しばらく待っても状況が変わらないときは、ソフトの終了、パソコンの終了を試してください（p.4）。
（フリーズとは、ソフトや周辺機器に異常が発生して、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることをいいます。「ハングアップした」ということもあります）

このほか、パソコンの様子がおかしいときは次の項目をご覧ください。
- 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「困ったときには」
- 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「音・画像・映像」

マウス、キーボードがおかしいとき

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

Q マウスを動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い

マウスポインタが◯の形に変わっていませんか？

マウスポインタが◯の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボード、NXパッドの操作が受け付けられないことがあります。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待っても、マウスやキーボード、NXパッドの操作ができないとき

ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった（フリーズした）ものと考えられます。「ソフトを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき」（p.4）をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

USB マウス、PS/2 キーボードをお使いですか？

USBマウス、PS/2キーボードは、正しいコネクタにしっかり接続されていないと正しく動作しません。
『準備と設定』をご覧になり、正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

光センサーマウスが正しく動作しない

光センサーマウスは、マウス底面にある赤い光をセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

・反射しやすいもの（鏡、ガラスなど）
・白いもの
・光沢があるもの（透明、半透明な素材を含む）
・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの

操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢のない印刷用紙や光学式マウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

レーザーマウスが正しく動作しない

レーザーマウスは正しいコネクタにしっかり接続されていないと正しく動作しません。『準備と設定』をご覧になり、正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

また、レーザーマウスは、マウス底面からのレーザーをセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

・反射しやすいもの（鏡、透明なガラスなど）

操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光学式マウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

マウスポインタの設定を変えていませんか？

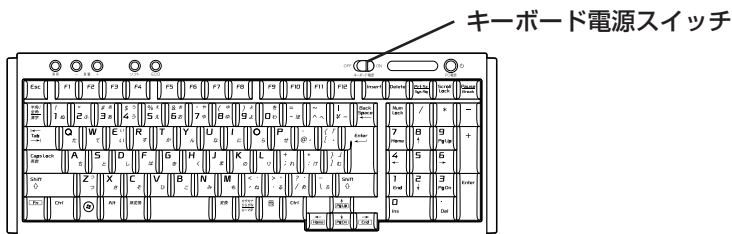
ソフトによっては、マウスポインタの設定によりポインタが表示されなくなることがあります。

参照

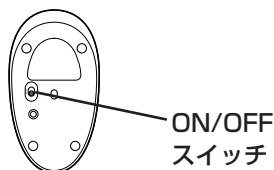
マウスポインタの設定について→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「マウス」

ワイヤレスマウス・キーボード

キーボード電源またはマウスのスイッチがOFFになっていませんか？

キーボード電源またはマウスのON/OFFスイッチがOFFになっていると動作しません。OFFになっているときはONにしてください。

ワイヤレスキーボード

ワイヤレスマウス

トラブル解決Q&A

パソコン本体から離れた所で操作していませんか？

周辺からの電波の影響で通信距離が短くなることもあります。マウス、キーボードをパソコン本体の正面すぐ近くに置いてみて、操作できるか確認してください。

キーボード電源またはマウスのスイッチを入れなおしてください。

キーボード電源またはマウスのON/OFFスイッチを切り、10秒後に再度スイッチを入れてみると操作できることがあります。

マウス、キーボードの登録をしなおしてください。

このパソコンのご購入時には、無線でマウス、キーボードからパソコン本体に信号を送るための登録がされていますが、何らかの原因で登録内容が消えて、マウス、キーボードからの操作ができなくなることがあります。『準備と設定』の付録をご覧になり、登録をしなおしてください。

キーボード、マウスの電池が切れていませんか？

『準備と設定』をご覧になり、電池を新しいものに交換してください。
電池を交換しても、キーボードやマウスをパソコン本体に近付けても、登録作業をしなおしても、正しく動作しないときは、キーボードやマウスの故障かパソコン本体の電波受信部の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンター（p.122）にお問い合わせください。修理、交換を依頼される場合は、キーボード、マウス、パソコン本体のすべてをお持ち込みください。

電波の影響が出やすい状態（ワイヤレスマウス・キーボード）

次のような状態は、電波の影響を受けやすいので避けてください。

- パソコン本体が、スチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある場合
- パソコン本体の前に周辺機器を設置してある場合
- このパソコンを複数、隣接して使っている場合
- このパソコンに隣接した場所で電気製品をご使用になる場合
- 周囲で2.4GHz帯（2.4～2.4835GHz）を使用する機器（無線LAN、Bluetooth機器、電子レンジなど）を使用している場合
- 携帯電話やコードレス電話などで話し中の場合

LaVie

指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

NXパッドの2か所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの2か所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。1か所だけに触れるようにしてください。

キー入力をしながらNXパッドを操作しようとしていませんか？

ご購入時の設定では、誤動作防止のため、キー入力時のNXパッド操作ができないようになっています。キー入力が終わってからNXパッドを操作するか、次の手順で設定を変更してください。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「マウス」をクリック**
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 **「タッピング」タブの「タイピング」の「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」のチェックを外す**

3 **「OK」をクリック**
これで、キー入力時にNXパッドを操作できるようになります。

NX パッドを無効にする設定になっていませんか？

USB マウスを接続して次の手順で設定を変更してください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 「USB マウス接続時の動作」タブをクリック

3 「USB マウスと同時に使用する」を選ぶ

4 「OK」をクリック

これで、NX パッドが有効になります。

NXパッドの「光るテンキーパッド」機能が起動していませんか？（LaVie N を除く）

「光るテンキーパッド」機能が起動しているときは、NX パッドがテンキーとして働き、マウスポインタの操作をすることができなくなります。

Fn キーを押したまま Caps Lock キーを押して、「光るテンキーパッド」機能を無効にしてください。

マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

VALUESTAR

やわらかい布などでふき取ってください。

キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、NEC 121コンタクトセンター（p.122）にお問い合わせください。

- ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。
- パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になります。

LaVie

NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

そのまま使い続けると、キーボードの故障の原因になることがあります。NEC 121コンタクトセンター（p.122）にお問い合わせください。

- ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。
- パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になります。

このほか、マウスやキーボードがおかしいときは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「困った」-「キーボード・マウス」の「キーボード」、「マウス・パッド」もご覧ください。

電源のトラブルがおきたとき

Q 電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体に電荷が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

VALUESTAR の場合

1. **電源コードをコンセントから抜く**
2. **パソコン本体の電源スイッチを 2、3 回押す**
   電源コードをコンセントから抜いた状態で電源スイッチを2、3回押すことで、本体に帯電した電荷が放電されます。
3. **そのまましばらく放置した後（90 秒程度）、電源コードを正しく接続しなおす**
4. **パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる**

LaVie の場合

1. **電源コードをコンセントから抜きバッテリを外す**
   バッテリの外し方については、『準備と設定』第 2 章の「バッテリパックを取り付ける」-「バッテリパックの取り外し方」をご覧ください。
2. **そのまましばらく放置した後、バッテリを取り付け、電源コードを正しく接続しなおす**
3. **パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる**

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121 コンタクトセンター（p.122）にお問い合わせください。

VALUESTAR

電源コードは正しく接続されていますか？

『準備と設定』をご覧になり、「電源コードとコンセントの接続」を確認してください。
VALUESTAR N では、『準備と設定』をご覧になり、AC アダプタの接続状態を確認してください。「AC アダプタと電源コードの接続」や「電源コードとコンセントの接続」も確認してください。

LaVie

バッテリパックや AC アダプタは、正しく接続されていますか？

『準備と設定』をご覧になり、バッテリパックやACアダプタの接続状態を確認してください。
AC アダプタの接続は、「AC アダプタと電源コードの接続」や「電源コードとコンセントの接続」も確認してください。

バッテリは十分充電されていますか？

ACアダプタを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。ACアダプタを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。ACアダプタを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンター（p.122）へお問い合わせください。

電源を入れるときは、電源スイッチを約 1 秒間押し、スイッチから手を離しましたか？

参照

電源スイッチの操作方法→『準備と設定』の「第４章　基本中の基本の操作」

Q 電源コードをまちがって抜いた。停電で急に電源が切れた

VALUESTAR

落ち着いて電源コードを差し込んで、パソコンの電源を入れなおしてください。
普段どおりパソコンが起動して、Windows の画面が表示されれば大丈夫です。
おかしな画面が表示されたときは、この後の「メッセージが表示されたとき」（p.65）でその現象を探してください。

Q 電源が切れない。強制的に電源を切りたい

「Windows を強制的に終了する」（p.6）をご覧ください。

Q パソコンの電源が勝手に入ってしまう

「バックアップ・ユーティリティ」で、自動バックアップの設定をしている場合、バックアップのためにパソコンが自動起動することがあります。
また、デジタルハイビジョンTVモデルの場合、設定によっては、予約の実行前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。
テレビの予約内容を確認してください。
予約の確認や設定については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。
そのほか、インターネットからWindowsのモジュールをダウンロードしてアップデートする際など、設定によってはパソコンが自動的に再起動するため、勝手に電源が切れたり入ったりするように見えることもあります。

Q パソコンの電源が勝手に切れる

このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態（スリープ状態）になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。省電力機能について詳しくは、『準備と設定』第4章の「省電力機能について」をご覧ください。
デジタルハイビジョンTVモデルの場合、設定によって、予約実行後に省電力状態になったり、電源が切れたりします。

Q 電源スイッチを入れたら、いつもと違う画面が表示された

フロッピーディスクやCD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリなどがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。

このほか、電源に関するトラブルが起きたときは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「電源と起動」をご覧ください。

画面が表示されないとき

Q ディスプレイ(画面)に何も表示されない

キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、マウスを軽く動かしてみてください。

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないとディスプレイの電源が切れるように設定されています。

パソコン本体の電源スイッチを押してください。

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。

参照

省電力機能について→『準備と設定』第4章の「省電力機能について」

CD-ROMやフロッピーディスクなどのディスクがセットされていませんか?

CD-ROMやフロッピーディスクなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。

SD メモリーカードなどのメモリーカードや USB メモリがセットされていませんか?

SD メモリーカードなどのメモリーカードや USB メモリがセットされているきは、いったん取り外します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。

ディスプレイの輝度（明るさ）が小さくなっていませんか？

LaVie の場合

キーボードで画面の輝度（明るさ）を調節してください。
なお、キーボードから輝度を調節した場合、スリープ状態からの復帰時や再起動するともとの設定に戻ります。コントロールパネルから設定を変更すると、同じ輝度で使い続けることができます。設定を変更する方法については、『準備と設定』第４章の「画面の輝度を調節する」をご覧ください。

VALUESTAR W、VALUESTAR N の場合

本体前面のカバー内部にある明るさ調節ボタン（VALUESTAR W）、本体右側面の明るさ調節つまみ / 画面消灯ボタン（VALUESTAR N）で画面の輝度（明るさ）を調節してください。なお、明るさ調節ボタン、明るさ調節つまみ / 画面消灯ボタンで輝度を調節した場合、スリープ状態からの復帰時や再起動するともとの設定に戻ります。コントロールパネルから設定を変更すると、同じ輝度で使い続けることができます。設定を変更する方法については、『準備と設定』第４章の「画面の輝度を調節する」をご覧ください。

ディスプレイがセットになっているモデルの場合

ディスプレイのマニュアルをご覧になり、画面の輝度（明るさ）を調節してください。なお、ECO ボタンなどで電源プランを「ECO」に切り換えると画面の輝度は50%になります。「ECO」で使用中、ディスプレイで画面の輝度を調整した場合、スリープ状態からの復帰時や再起動すると画面の輝度は「ECO」の設定（輝度 50%）に戻ります。

休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり、周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windows が起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

パソコン本体やディスプレイのケーブルなどは正しく接続されていますか？

『準備と設定』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
すべて正しく接続されているのにディスプレイに何も表示されないときは、ディスプレイまたはパソコン本体の故障が考えられます。NEC 121 コンタクトセンター（p.122）にお問い合わせください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示されてから、画面が真っ暗になった

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面が真っ暗になるときは、「第３章 再セットアップする」の「再セットアップを始める前に」をご覧になり、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

VALUESTAR

ディスプレイの電源ランプが消えていませんか？

ディスプレイがセットになっているモデルの場合、ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、いったんパソコン本体の電源を切ります。『準備と設定』第３章の「電源を入れる」をご覧になり、ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れなおしてください。

画面消灯ボタンを押してください。

VALUESTAR W、VALUESTAR Nの場合、本体の画面消灯ランプが点灯しているときは、本体前面にある画面消灯ボタン（VALUESTAR W)、本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタン（VALUESTAR N）を押してください。ナイトモードのオン/オフが切り換わります。
ナイトモードとは、夜間に画面表示を消したままでテレビ録画をしたり、一時的に画面表示や音声を消したりするときに使う機能です。

パソコン起動後にディスプレイの接続をおこなっていませんか？

ディスプレイがセットになっているモデルの場合、パソコン起動後にディスプレイを接続してもディスプレイには何も表示されないことがあります。このような場合は、パソコン本体の電源スイッチを４秒以上押し続けていったん強制的に電源を切り、５秒以上待ってからもう一度電源を入れなおしてください。

LaVie

外部ディスプレイを接続していませんか？

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、電源ランプが点灯していても、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。

画面を表示させるには、キーボードの【Fn】＋【F3】を押すか、「画面の設定」で画面の出力先を変更してください。画面の設定の手順については、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「表示機能」をご覧ください。

（出力先を「画面の設定」で変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます）

また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

Windows Media Centerを使用していると、動かなくなってしまう。動作が遅い

Windows Media Center 画面の下に、ほかのソフトの画面が表示されていませんか？

ほかのソフトの画面がWindows Media Center画面の下に重なっている可能性があります。Windows Media Center右上の（最小化ボタン）をクリックして、ほかのソフトの画面が表示されていないか確認します。ソフトの画面やメッセージが表示されていた場合は、内容をよく読んで操作してください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOSセットアップメニューで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。
次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。
なお、BIOSセットアップメニューで設定したパスワードは、次の手順をおこなっても初期値には戻りません。

BIOSセットアップメニューで設定をおこなっている間は、パソコンの電源スイッチで電源を切らないでください。電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップメニューを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切る操作をおこなってください。

1 別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す

2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押す

BIOSセットアップメニューの画面が表示されます。
表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、「NEC」ロゴ表示中に【F2】を繰り返し押してください。
「NEC」のロゴ画面が表示されない場合は、本体の電源を入れた直後、キーボードまたはディスプレイのランプが点灯したら、BIOSセットアップメニューが起動するまで、【F2】を繰り返し押してください。

3 【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

4 「はい」または「Y」または「Ok」または「Yes」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が初期値に戻ります。

5 【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 「はい」または「Y」または「Ok」または「Yes」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない

省電力状態からの復帰（再開）に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

・プリンタへ出力中のとき
・サウンド機能により音声を再生しているとき
・ハードディスクを読み書き中のとき
・CD-ROMなどを読み取り中のとき
・省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

参照

「ディスプレイの省電力機能が設定できない」など、省電力機能に関するトラブル→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「電源と起動」

ソフトや周辺機器は省電力機能（スリープ状態／休止状態）に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを４秒以上押し続けませんでしたか？

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを４秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持（記録）した内容が消えてしまう場合があります。

CD-ROMやフロッピーディスクなどのディスクがセットされていませんか？

CD-ROMやフロッピーディスクなどのディスクがセットされている状態で省電力状態から復帰すると、正しく復帰できずにフロッピーディスクやCD-ROMから起動してしまうことがあります。

省電力状態にする場合には、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出してから省電力状態にするようにしてください。なお、フロッピーディスクを取り出す前に、必要なファイルは保存してください。

VALUESTAR

スリープ状態への移行中に停電したり、電源コードが抜けたりしませんでしたか？

スリープ状態への移行中に停電したり、電源コードやACアダプタが抜けると、保持（記録）された内容が消えてしまう場合があります。

電源コードは正しく接続されていますか？（スリープ状態のとき）

電源コードを正しくコンセントに接続します。VALUESTAR Nの場合はACアダプタの接続も確認してください。

画面消灯ボタンを押してください。

VALUESTAR W、VALUESTAR Nの場合、本体の画面消灯ランプが点灯しているときは、本体前面にある画面消灯ボタン（VALUESTAR W）、本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタン（VALUESTAR N）を押してください。ナイトモードのオン/オフが切り換わります。
ナイトモードとは、夜間に画面表示を消したままでテレビ録画をしたり、一時的に画面表示や音声を消したりするときに使う機能です。

LaVie

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

・液晶ディスプレイを閉じた
・省電力状態にした
・電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

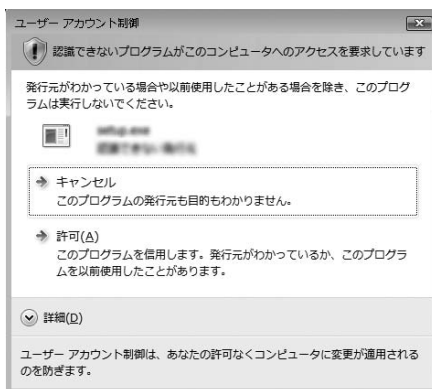
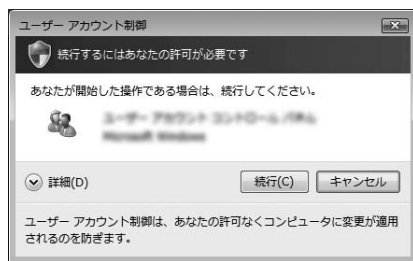
バッテリの残量が少なくなっていませんか？

ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

このほか、画面に関するトラブルが起きたときは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「困った」-「電源と起動」、「Windows操作・設定」をご覧ください。

メッセージが表示されたとき

Q 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された

Windowsには、ユーザーの操作やプログラムの実行を監視し、処理を続行する前に画面を表示してユーザーの許可を求める「ユーザー アカウント制御」機能があります。
ソフトを起動したり、操作しているときに、次のような「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

※プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「許可」または「続行」してよいかどうか判断してください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、「キャンセル」することで被害を防げることがあります。
「標準ユーザー」でパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

「詳細ブート オプション」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windows をセーフモードで起動します。セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。
「スタート」メニューの▸から「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。「第3章　再セットアップする」をご覧になり、「システムの復元」または「再セットアップ」をおこなってください。

「Windows Vista再セットアップ」が表示された

「終了」をクリックしてください。Windows が起動します。

画面に、「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された

CD-ROMやフロッピーディスク、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USB メモリなどがセットされていませんか？

CD-ROM やフロッピーディスク、SD メモリーカードなどのメモリーカード、USB メモリなどを取り出す、または取り外してから、いずれかのキー（【Enter】など）を押してください。ハードディスクから Windows が起動します。

CD-ROMやフロッピーディスク、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示されるとき

ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。「第３章　再セットアップする」をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。また、Roxio BackOnTrackでバックアップしたデータがあるときは、そのデータを使ってシステムを復元することもできます（p.27）。

このほか、見慣れない画面が表示されたときは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」の「突然、画面が表示された」をご覧ください。

パスワードのトラブルがおきたとき

Q パスワードを入力すると「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示される

(キャップスロック)や(ニューメリックロック)の状態が設定時と異なっていませんか?

キャップスロックやニューメリックロックの状態がパスワード設定時と異なっていると、パスワードが正しく入力できない場合があります。キーボードのマーク表示部を確認して、パスワードを設定したときと同じ状態にしてからパスワードを入力しなおしてください。

Q パスワードを忘れてしまった

Windows のパスワードを忘れてしまったとき

一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないでをクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。
どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワード リセット ディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。
または、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名が登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウント管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

- **ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイト、ネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。**
- **「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、パスワードを設定しなおすことはできません。**

これらの方法で解決できない場合は、パソコンの再セットアップが必要になります。再セットアップ（C ドライブのみ）をおこなうと、C ドライブのすべてのデータが消えてしまいますが、一部のデータは「バックアップレンジャー」でバックアップすることができます。

バックアップレンジャーで、すべてのデータのバックアップを取ることはできません。

参照

・再セットアップについて→第３章「再セットアップする」（p.77）

・バックアップレンジャーについて→第3章の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」（p.113）

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOSセットアップメニューで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOS セットアップメニューを起動できません。NEC 121 コンタクトセンター（p.122）にご相談ください。

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

NEC 121 コンタクトセンターでは、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、またハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードは忘れないよう、十分注意してください。

このほか、パスワードやセキュリティに関するトラブルが起きたときは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」の「セキュリティ」をご覧ください。

ウイルスの感染が疑われるとき

Q ウイルスが引き起こす症状を知りたい

ウイルスは次のような症状を引き起こすことがあります。
これらの現象が起こったときはウイルスに感染しているかもしれません。
ウイルス対策ソフトなどでウイルスをチェック（ウイルススキャン）をしてください。

● 動作が重くなった
- 「Word」や「Excel」などのソフトの動きが急に遅くなった
- メモリが不足しがちになる

● 見た目が変わった
- アイコンが変更されている
- 知らないグラフィックス（アニメーション、絵、図形など）が表示される
- 画面の表示が崩れている

● 設定が変わった
- Internet Explorer に設定したホームページが変わってしまった
- ダイヤルアップ接続の接続先が知らない電話番号（海外など）に変更されている

● うまく動かない
- プログラムが起動しない
- ファイルが壊れてしまった
- キーボードから入力ができない
- 勝手にインターネットに接続しようとする
- Windows が、突然終了してしまう

● ファイルが変わった
- 知らないファイルがいつのまにかできている
- ファイルのサイズが大きくなった

● その他、次のようなケースでウイルス感染が心配な場合
- ホームページを見ていたら、勝手に何かをインストールされてしまった
- 電子メールの添付ファイルが開かない
- 知らないうちに自分の名前で電子メールが送られていた
- クレジットカード会社から、身に覚えのない請求書が来た

ウイルス対策ソフト（ウイルスバスターなど）が自動的にウイルスを検出したときは、右のようなメッセージが表示されます。

参照

ウイルス対策ソフトについて→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「使う」-「ウイルス感染の防止」

Q ウイルスをチェックしたい

ウイルス対策ソフト（ウイルスバスターなど）を使って、ウイルスに感染したかどうかを調べることができます。
感染が疑わしいときは、すぐにウイルスをチェックすることをおすすめします。
また、ウイルス対策ソフトを使って、ウイルスの侵入を常に監視したり、定期的なウイルスチェックを自動でおこなうこともできます。

参照

ウイルス対策ソフトについて→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「使う」-「ウイルス感染の防止」

Q ウイルスに感染してしまったら

まずほかの人への感染を防止する

ウイルスによっては、感染すると自動的にウイルスを添付したメールを作成し、勝手にほかの人に送信して感染を広げようとするものもあります。
ウイルスに感染してしまったときは、ほかの人に感染を広げないためにも大至急で感染の防止策をとりましょう。

● ネットワークから切り離す
インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを、パソコンから取り外します。ワイヤレスLANの場合は、ワイヤレスLAN機能をオフにします。

パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。

● 関係者に連絡する
もしかしたら、すでにほかの人のパソコンにもウイルスが広がっているかもしれません。自分のパソコンがウイルスに感染したことを、次のような関係者に速やかに連絡しましょう。

- 電子メールのアドレス帳に登録されている会社や知人
- LANやワイヤレスLANなどでつながっているパソコンの使用者

関係者には、電話やFAXを使って連絡してください。電子メールを使うとウイルスの感染を広げるおそれがあります。

ウイルスを駆除する

ウイルス対策ソフト（ウイルスバスター）を使って、ウイルスを駆除します。
ご購入時の状態では、ウイルス対策ソフトのチェックで検出されたウイルスは、自動的に駆除されます。
検出されたウイルスが駆除できなかったときは、ウイルスに感染したファイルを手動で処理する必要があります。

参照

- ウイルス対策ソフトについて→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「使う」-「ウイルス感染の防止」
- ウイルスの駆除について→「ウイルスバスター」のヘルプ

ウイルスの被害を届ける

コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人にかかわらず、次の届け先に届け出てください。届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先

独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）
IPAセキュリティセンター
FAX：03-5978-7518
E-mail：virus@ipa.go.jp
URL：http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
（IPA）コンピュータウイルス110番
TEL：03-5978-7509

ウイルスを予防するには

● ウイルス対策ソフトを活用する

ウイルス対策ソフト（ウイルスバスター）は、手動でウイルスをチェックするだけでなく、ウイルスの侵入を常に監視したり、定期的なウイルスチェックを自動でおこなうことができます。

参照

ウイルス対策ソフトについて→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「使う」-「ウイルス感染の防止」

● 「ユーザー アカウント制御」で意図しない操作やプログラムの実行をキャンセルする

Windowsには、ユーザーの操作やプログラムの実行を監視し、処理を続行する前に次のような画面を表示してユーザーの許可を求める「ユーザー アカウント制御」機能があります。

※プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたときも、上記の画面で「キャンセル」を選ぶことで、被害を防げることがあります。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「許可」または「続行」してよいかどうか判断してください。

参照

ユーザー アカウント制御について→「スタート」-「ヘルプとサポート」-「セキュリティとメンテナンス」-「ユーザー アカウント制御」

その他のトラブルがおきたとき

Q DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった

DVDやCDの再生中または書き込み中ではありませんか？

DVDやCDの再生中または書き込み中のときは、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。停止させてからディスクを取り出してください。

パソコンの電源は入っていますか？

パソコンの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクは出てきません（VALUESTAR N（19型ワイドディスプレイモデル）を除く）。
VALUESTAR N（19型ワイドディスプレイモデル）では、ACアダプタが接続されている状態でイジェクトボタンを押すと、一時的に電源が入り、ディスクを取り出すことができます。ディスクを取り出した後は、再び電源が切れます。

DVD/CDドライブはオンになっていますか？（LaVie Nのみ）

DVD/CDドライブの電源状態は、画面右下の通知領域にある「節電設定ツール」のアイコン（ または ）で確認できます。アイコンにマウスポインタをあわせると表示されるメニューの「DVD/CDドライブ」が「オフ」になっているときは、DVD/CDドライブを使えません。DVD/CDドライブのオンとオフは、キーボードの【Fn】+【F5】を押すと切り換わります。

画面の操作で取り出しをしてみてください。

「スタート」-「コンピュータ」をクリックして画面を表示します。DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして「取り出し」をクリックしてください。

パソコンを再起動してからイジェクトボタンを押してください。

アクセスランプが消えていることを確認した後いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。

DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったとき

非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出します。詳しい手順については、『準備と設定』の「付録」をご覧ください。
DVD/CDドライブがスロットインタイプ（DVD/CDメディアをトレイにセットするタイプではないもの）のモデルで、DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったときは、NEC 121コンタクトセンター（p.122）にご相談ください。

参照

このほか、DVD/CDドライブのトラブルについて→「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「音・画像・映像」

Q パソコンを落とした

外観上、特に問題なさそうなら、とりあえず電源を入れてみましょう。
ふつうに動作するようならば、ひと安心です。万が一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源プラグをコンセントから抜いて、NEC 121コンタクトセンター（p.122）にご相談ください。

Q HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどでDVDや動画がなめらかに再生できない（HDMIコネクタを搭載しているモデルのみ）

リフレッシュレートを上げるか、または画面解像度を下げてください。

設定方法について詳しくは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「表示機能」-「ディスプレイの設定をおこなうときの注意事項」をご覧ください。

Q リモコンが効かない、効きが悪い（デジタルハイビジョンTVモデルのみ）

電池は切れていませんか？

電池を交換してください。電池の交換方法については、『準備と設定』をご覧ください。

リモコンとリモコン受光部の角度は正しいですか？

リモコンとリモコン受光部の距離と角度がずれていると、正しく動作しません。リモコンを使うときは、パソコンから約3mの範囲で操作してください。また、リモコン受光部に対して左右約38度、上下約17度以内の角度で操作してください。リモコン受光部の位置については「ソフト＆サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「各部の名称と役割」をご覧ください。

このほかのトラブルについては「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」をご覧ください。

第3章

再セットアップする

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、この章の説明をよくお読みください。

再セットアップには時間がかかります。「Cドライブのみ再セットアップ」で2時間以上、その他の再セットアップではそれ以上の時間がかかります。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ（準備作業）をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ（画面の表示が動かなくなること）が多くなったりしたときは、気付かないうちにパソコンのシステムが壊れていたり、意識しないまま設定を変更してしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。
しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。
再セットアップの前にデータのバックアップ（データの控えを残しておくこと）を取ってください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のチェックを試してみてください。問題が解決することがあります。

ウイルスチェックをおこなう（p.79）

▼

セーフモードでパソコンを起動してみる（p.80）

▼

データのバックアップを取る（p.81）

▼

システムの復元を試みる（p.83）

ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。
知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

「ウイルスバスター」でチェックする

1 **デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックし、「検索開始」をクリック**

アイコンが表示されていないときは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「ウイルスバスター」の「ソフトを起動」をクリックしてください。「ウイルスバスター」のメイン画面が表示されたら「検索開始」をクリックしてください。

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、ユーザー登録後、はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料で最新のウイルスパターンファイルにアップデートをおこなうことができます。詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「ウイルスバスター」をご覧ください。

セーフモードでパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードなら起動できることがあります。

セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。

1 **パソコン本体の電源を切る**

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 **パソコン本体の電源を入れる**

3 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す**

4 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す

ログオンパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
ユーザーを複数設定している場合は、ユーザー選択の画面が表示されます。自分のユーザーアカウントを選んでください。
これで、パソコンをセーフモードで起動することができました。
「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

この後、「スタート」- ▸ -「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

セーフモードについて詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「セーフ モード」と入力して検索してください。

データのバックアップを取る

システムの復元や再セットアップをおこなう前に、「バックアップ・ユーティリティ」を使ってデータのバックアップを取ってください。
操作については、第1章の「バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する」の「バックアップを取る」(p.20)をご覧ください。

参照

バックアップについて→第1章の「もしものときに備えて(バックアップ)」(p.15)

必要に応じて、次の操作をおこなってください。

●テレビ番組の録画データをDVDなどに保存する（デジタルハイビジョンTVモデル）

テレビ番組の録画データは「バックアップ・ユーティリティ」ではバックアップできません。必要な録画データは、SmartVisionを使ってDVDなどに保存してください。操作方法について詳しくは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

・デジタルハイビジョンTVモデルの場合、テレビ番組の録画データは、ご購入時の状態では、Dドライブに保存されます。Dドライブに録画データを保存していて、「Cドライブのみ再セットアップ」やRoxio BackOnTrackなどでCドライブのみのバックアップ/復元をおこなったときは、基本的に再セットアップ後もDドライブの録画データを利用できます。
Dドライブにデータが残らない方法で再セットアップをおこなったときや、録画データの保存先を変更しているときは、ほかのメディアに書き出すなどして、必要な録画データをバックアップしてください。

・Roxio BackOnTrackなどでDドライブをまるごとバックアップ/復元した場合も録画番組データはそのまま利用できますが、SmartVisionで消去したデータは、復元後、データがDドライブに復元されても利用できません。

●音楽データなどの著作権保護されたデータをバックアップする

音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したソフトのヘルプをご覧ください。

システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」などに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

- システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを復元することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させておいてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.80)で説明した手順にしたがって、パソコンをセーフモードで起動してください。その後、次の手順で操作してください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「システム回復オプション」からシステムの復元を実行することもできます。「「スタートアップ修復」を使う」(p.85)の手順６で、「システムの復元」をクリックしてください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。
- Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）をインストールしている場合は、Windowsのシステムの復元が無効となり、利用できません。その場合は、Roxio BackOnTrack（インスタントリストア）(p.35)でバックアップしたデータを使って、Windowsのシステムを復元してください。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック

2 「システムの復元」の画面が表示されたら、「推奨される復元」が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリック

別の復元ポイントを使う場合は、「別の復元ポイントを選択する」を◉にして「次へ」をクリックし、次の画面で使用する復元ポイントを選んでください。

3 「復元ポイントの確認」が表示されたら、内容を確認して「完了」をクリック

4 **確認の画面が表示されたら「はい」をクリック**

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

5 **「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリック**

これで、システムの復元は完了です。

「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモードでもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できない場合、次の手順を試してください。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す**

3 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(詳細)」を選び、【Enter】を押す**

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

「スタートアップ修復」を使う

スタートアップ修復は、システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動をさまたげる可能性のある問題を解決できる、Windowsの回復ツールです。
パソコンがまったく起動しないときは、「スタートアップ修復」を試してください。パソコンが自動的に問題を診断して修復し、正常に起動できるようになる場合があります。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す**

3 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「コンピュータの修復」を選び、【Enter】を押す**

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 **「システム回復オプション」が表示されたら、そのまま「次へ」をクリック**

5 **自分のユーザー名を選び、パスワードを入力して「OK」をクリック**

6 **「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック**

「スタートアップ修復」が始まります。

7 **修復が終わったら「完了」をクリック**

8 **「シャットダウン」または「再起動」をクリックしてシステム回復オプションを終了する**

強制電源断など、パソコンが正常に終了されなかった場合、次回パソコン起動時には、自動的にスタートアップ修復が起動する場合があります。
その場合は、画面の指示にしたがい、コンピュータを復元してください。ただし、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

再セットアップする（Cドライブのみ）

このパソコンのハードディスクにあるC ドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

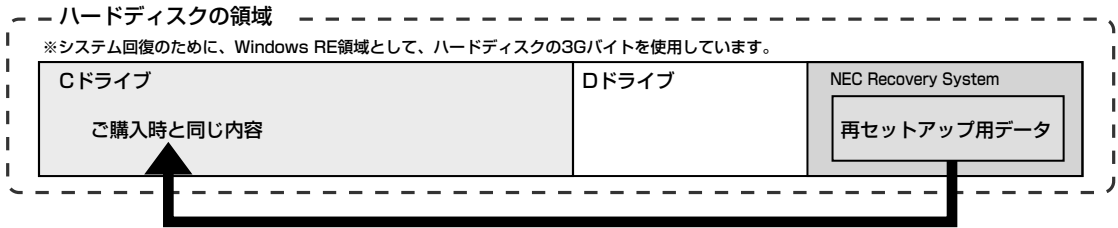
パソコンに慣れていないかたは、この方法で再セットアップ

このパソコンのハードディスクには、あらかじめC ドライブとD ドライブという２つの領域があります。C ドライブには、Windows やソフト、ドキュメントなどに保存したファイルなどが入っています。Dドライブには、ソフトで作成したデータやバックアップデータの保存先にD ドライブを指定した場合は、それらのファイルが入っています。

「再セットアップする（C ドライブのみ）」で説明する手順では、D ドライブの内容を残したまま、C ドライブだけをご購入時の状態に戻します。パソコンの操作に慣れていないかたやハードディスクをフォーマットした経験のないかたは、この方法で再セットアップをおこなってください。

C ドライブの領域を変更して再セットアップする場合は、101 ページ

Cドライブの領域を変更して再セットアップする場合は、「Cドライブの領域を変更して再セットアップする」（p.101）へ進んでください。その場合、Dドライブのデータも失われます。パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかたのみCドライブの領域を変更してください。

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域データ（NEC Recovery System）を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。

ハードディスクにある再セットアップ用データを使って再セットアップ

- ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除、ダイナミックディスクなど)した場合、この方法での再セットアップはできません。
- この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります。
- 再セットアップは中断しないでください。
- BitLockerをオンにしてCドライブを暗号化している場合、この方法での再セットアップはできません。
- RAIDモデルで再セットアップをおこなう場合、RAID構成が正常に設定されている必要があります。再セットアップをおこなう前に、ディスクアレイ情報を確認してください。

再セットアップの流れ

再セットアップは次の14項目の作業を連続しておこないます。項目によってはおよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

準備する

1 必要なものを準備する
2 バックアップを取ったデータを確認する
3 インターネットの設定を控える
4 ユーザー名を控える
5 BIOS（バイオス）の設定を初期値に戻す（初期値を変更している場合のみ）
6 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り外す

再セットアップする

7 システムを再セットアップする 約1時間〜1時間30分
8 Windows の設定をする 約30分
9 Office Personal 2007 または Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 を再セットアップする（Office 2007 モデルのみ） 10分

もとの状態に戻す

10 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす
11 別売のソフトをインストールしなおす
12 バックアップを取ったデータを復元する
13 インターネット接続の設定などをやりなおす
14 Windows やウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

再セットアップする

バックアップは終わっていますね？

再セットアップをおこなうと、Cドライブに保存したデータはすべて失われます。バックアップが終わっていない場合、第1章の「バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する」の「バックアップを取る」(p.20) をご覧ください。

再セットアップを始めたら、途中でやめない!

再セットアップは、すべての作業項目を最後まで続けて作業することが必要です。途中でやめてしまうと、再セットアップが終わってもデータがもとどおりに復元されなかったり、一部のデータが失われたりすることがあります。

1 必要なものを準備する

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

- **「Microsoft® Office Personal 2007」CD-ROMとプロダクトキー（Office 2007モデルのみ）**

Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデルの場合、PowerPoint 2007のインストールCDとプロダクトキーも必要です。

- **『パソコンのトラブルを解決する本』（このマニュアル）**

そのほか、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。

2 バックアップを取ったデータを確認する

第1章の「バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する」の「バックアップを取る」(p.20) でバックアップを取ったデータを、もう一度確認してください。まだバックアップを取っていなかったり、バックアップに失敗していたときは、バックアップを取りなおしてください。

Windowsの障害などでバックアップ・ユーティリティが使えないときは、バックアップレンジャー（p.113）を使ってバックアップを取ることができます。

3 インターネットの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- ユーザー ID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリ DNS
- セカンダリ DNS
- メールサーバー
- ニュースサーバー

必要に応じて、LAN の設定を控えてください。

4 ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー 1」の欄に控えておきます。『準備と設定』第 3 章の「キーボードを使って名前を入れる」をご覧ください。「8.Windowsの設定をする」の作業をおこなうときに、このユーザー名が一致しないとデータが復元できなくなってしまいます。

	ユーザー名
ユーザー 1（1 人目）	
ユーザー 2（2 人目）	
ユーザー 3（3 人目）	
ユーザー 4（4 人目）	

- **家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。**
- **ユーザー名を控えるときは、「大文字と小文字の区別」、「半角と全角の区別」に注意してください。**
- **「バックアップ・ユーティリティ」でデータのバックアップを取った場合は、バックアップが完了したときに表示されるバックアップユーザー名を控えてください。**

5 BIOSの設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。手順について詳しくは、第2章の「画面が表示されないとき」の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.61)をご覧ください。

6 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

別売の周辺機器をすべて取り外し、『準備と設定』の第1章〜第2章で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。DVD/CDドライブやメモリースロットなど各ドライブにもメディアがセットされていないか確認してください。セットされている場合は、すべて取り出してください。

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

7 システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

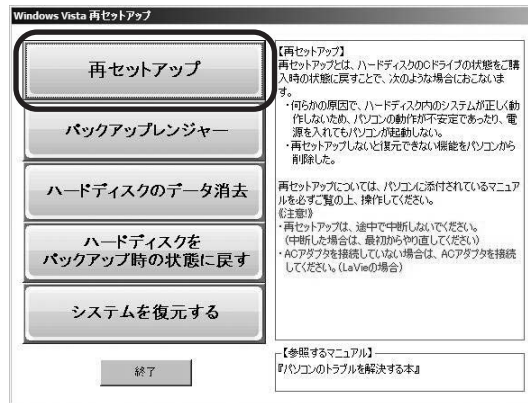
LaVieの場合、次の手順を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F11】を何度か押す

4 「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

ここでバックアップを取りたい場合は「バックアップレンジャー」を選んでください。

5 「C ドライブのみ再セットアップ」をクリック

6 確認の画面が表示されたら、「はい」をクリック

「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたときは、「戻る」をクリックし、手順５からやりなおしてください。

再セットアップが始まり、「Symantec Ghost」の画面が表示されます。再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

DVD/CD ドライブやメモリースロットなどにメディアがセットされていると、再セットアップが途中で停止してしまうことがあります。再セットアップが途中で停止したときは、DVD/CD ドライブやメモリースロットを確認し、メディアがセットされていたら取り外してください。

7 「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック

「パソコンを再起動します」の画面が表示されなかったときは再セットアップが正常におこなわれていません。「7. システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

「再起動」をクリックして、パソコンが再起動したら、次の「8.Windowsの設定をする」へ進んでください。

8 Windowsの設定をする

次の手順で操作してください。

1 「Windows のセットアップ」の画面が表示されていることを確認する

2 何も設定を変更せずに「次へ」をクリック

3 「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、「ライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にして、「次へ」をクリック

4 「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力して、「次へ」をクリック

ユーザーアイコンはどの画像を選択してもかまいません。

パスワードは、ここでは設定しません。Windows のセットアップ作業が終わってから設定します。

5 「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されたら、背景を選んで「次へ」をクリック

コンピュータ名には「VALUESTAR」「LaVie」など好みの名前を入力してもかまいません。また、再セットアップする前に付けていた名前と異なるものを入力してもかまいません。

6 「Windows を自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」をクリック

7 「ありがとうございます」と表示されたら、「開始」をクリック

しばらくすると、何度か再起動して「121ポップリンクの設定」と表示されます。

再起動後に「節電設定ツール」の画面が表示された場合は、「OK」をクリックしてください（LaVie Nのみ）。

8 「121ポップリンクの設定」が表示されたら、「利用する」がになっていることを確認し、をクリック

121ポップリンクは、お使いの機種に適した最新情報をNECからインターネット経由でお届けするサービスです。

9 「ソフトウェアのセットアップ」と表示されたら、「標準セットアップ」がになっていることを確認して「次へ」をクリック

「ソフトウェア一覧から選択」を選ぶと、一覧から使いたいソフトを選んでインストールできます。

「最小セットアップ」を選ぶと、ソフトは追加インストールされません。

VALUESTAR Gシリーズのミニマムソフトウェアパックのモデル、LaVie Gシリーズのミニマムソフトウェアパックのモデルでは、「ソフトウェアのセットアップ」の画面が表示されず、パソコンが自動的に再起動します。その場合は、再起動後に「復元ポイントを作成しています。しばらくお待ちください。」と表示され、しばらくして「インターネットエクスプローラホームページの設定」画面が表示されます。手順13に進んでください。

10 「ソフトウェアセットアップ開始確認」と表示されたら、「次へ」をクリック

11 「ソフトウェアのセットアップ完了」と表示されたら「OK」をクリック

パソコンが再起動します。再起動後、「復元ポイントを作成しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。しばらくすると、「「文字サイズ/マウスポインタサイズの拡大」の設定」の画面が表示されます。

12 Windows Vistaの初期設定のまま利用する場合は「文字サイズ/マウスポインタサイズ拡大の設定」の「標準サイズ」がになっていることを確認する

「拡大サイズ」をにすると、画面に表示される文字が大きくなり、マウスの動きが遅くなります。

13 「インターネットエクスプローラホームページの設定」で、BIGLOBEホームページかYahoo!JAPANホームページのいずれかを選んでにし、をクリック

インターネットを見るときに最初に表示されるホームページを選びます。「BIGLOBEのホームページ」をにすると、BIGLOBEのホームページが、「Yahoo!JAPAN ホームページ」をにすると、Yahoo!JAPAN のホームページが最初に表示されるようになります。この設定は、後から変更することができます。

「未成年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス制限について」画面が表示されます。

14 表示された内容を確認し、をクリック

しばらくすると、「ウェルカムセンター」が表示されます。これでWindowsの設定は終了です。

Windows の設定が終了したら、セキュリティ対策のため、Windows のパスワードを設定することをおすすめします。パスワードの設定については『準備と設定』第３章の「Windows のパスワードを設定する」をご覧ください。

Office 2007 モデルの場合は、続けて「9.Office Personal 2007 または Office Personal 2007 with PowerPoint 2007 を再セットアップする」に進んでください。

その他のモデルの場合は、「10.別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす」（p.98）へ進んでください。

9 Office Personal 2007またはOffice Personal 2007 with PowerPoint 2007を再セットアップする（Office 2007モデルのみ）

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

Office Personal 2007 のインストール

1 **Office Personal 2007 のインストール CD-ROM をセットする**

2 **「自動再生」が表示されたら「SETUP.EXE の実行」をクリック**

「自動再生」が表示されない場合は、「スタート」-「コンピュータ」をクリックし、DVD/CD ドライブのアイコンをダブルクリックして、手順３に進んでください。

3 **プロダクトキーを入力して、「次へ」をクリック**

「プロダクトキー」は、CD-ROMケースの裏面に貼ってあるシールに記載されています。

4 **「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」のライセンス条項にご同意いただければ、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリック**

5 **「今すぐインストール」をクリック**

インストールが始まります。

6 **正常にインストールされた旨のメッセージが表示されたら「閉じる」をクリック**

インストール CD-ROM を DVD/CD ドライブから取り出してください。

PowerPoint 2007 のインストール（Office Personal 2007 With PowerPoint 2007 モデルの場合）

Office Personal 2007 のインストールが完了したら、PowerPoint 2007 のインストール CD-ROM を DVD/CD ドライブにセットし、「Office Personal 2007 のインストール」の手順２～６をおこなってください。

Office 2007 Service Pack 1のインストール

Office Personal 2007のインストール、PowerPoint 2007のインストール（Office Personal 2007 With PowerPoint 2007モデルの場合）が完了したら、次の手順でOffice 2007 Service Pack 1をインストールします。

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」をクリック

「ファイル名を指定して実行」が表示されます。

2 「名前」欄に次のように入力して、「OK」をクリック

C:¥APSETUP¥012SP1¥Office2007SP1-kb936982-fullfile-ja-jp.exe

「2007 Microsoft Office Suite Service Pack 1 (SP1)」が表示されます。

3 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」のライセンス条項にご同意いただければ、チェックを付けて、「次へ」をクリック

4 「このパッケージのインストールを完了するため今すぐ再起動しますか？」と表示されたら「はい」をクリックしてパソコンを再起動する

インストールが終了したら、必ずMicrosoft Updateを実行し、最新の状態にしてください。Microsoft Updateについて詳しくは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「使う」-「Windowsの更新」をご覧ください。

これでインストールは終了です。

IME 2007修正プログラムのインストール

続いて、IME 2007修正プログラムをインストールします。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」をクリック

「ファイル名を指定して実行」が表示されます。

**2 「名前」欄に次のように入力して、「OK」をクリック
C:¥APSETUP¥012SP1¥office-kb956793-fullfile-x86-ja-jp.exe**

「Office(KB956793)の修正プログラム」ダイアログが表示されます。

3 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」のライセンス条項にご同意いただければ、チェックを付けて「次へ」をクリック

4 「このパッケージのインストールを完了するため今すぐ再起動しますか？」と表示されたら「はい」をクリックしてパソコンを再起動する

これでインストールは終了です。

再セットアップ後、Office Personal 2007やPowerPoint 2007を最初に使用するとき

Outlook 2007やWord 2007、PowerPoint 2007などのソフトを最初に使用するときは、ライセンス認証に関する画面が表示されます。表示された内容をよく読んで、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

10 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす

ご利用の周辺機器に添付のマニュアルを準備してから作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、各周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

11 別売のソフトをインストールしなおす

パソコンに別売のソフトをインストールしていた場合は、それぞれに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

12 バックアップを取ったデータを復元する

バックアップを取っておいたデータを復元してください。

1 「バックアップ・ユーティリティ」でバックアップしたデータを復元する

操作については、第1章の「バックアップ・ユーティリティでバックアップ/復元する」の「バックアップしたデータを復元する」(p.25)をご覧ください。

2 音楽データなどの著作権保護されたデータを復元する

音楽データなどをバックアップしたソフトなどで復元してください。

- 複数のユーザーのデータをバックアップしていた場合は、ユーザーごとにデータを復元する必要があります。「スタート」- -「ユーザーの切り替え」の順にクリックして、ユーザーごとにデータを復元してください。このとき、標準ユーザーのデータは管理者ユーザーが復元してください。
- 複数のユーザーのデータを復元する場合は、復元するユーザーアカウントがあらかじめ作成されている必要があります。作成していない場合は、控えておいたユーザー名をもとにユーザーアカウントを作成してください。
- ユーザー名の変更や再セットアップが原因で、バックアップデータが別のユーザーのものと認識されると、復元時に「ご注意」ウィンドウが表示されます。この場合は、「ご注意」ウィンドウで「一時的に次のフォルダに復元する」を選択して復元をおこない、あとで「C:¥ユーザー名」フォルダから必要なファイルを取り出して、正しい場所へ適用してください。
- 「バックアップ・ユーティリティ」について詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「バックアップ・ユーティリティ」をご覧ください。

13 インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定や、テレビのチャンネル設定などの初期設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ（入会申し込み）をやりなおす必要はありません。
なお、「バックアップ・ユーティリティ」を使ってインターネット接続の設定をバックアップしてあった場合は、「12.バックアップを取ったデータを復元する」の操作でそれらの設定が復元されます。
「バックアップ・ユーティリティ」でインターネット接続の設定のバックアップを取っていない場合、『準備と設定』の「第6章　パソコンを買い替えたかたへ」を参考にインターネット接続の設定をおこなってください。
デジタルハイビジョンTVモデルのテレビの初期設定については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

14 Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows アップデートやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

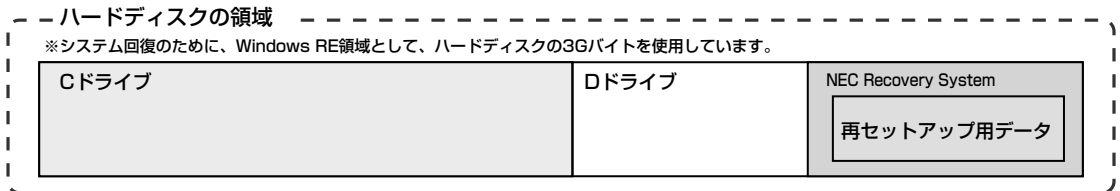
このパソコンのハードディスクにあるCドライブとDドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

パソコンに慣れていないかたは、86ページへ

ここで説明する方法で、パソコンのハードディスクにあるCドライブとDドライブの領域を変更して再セットアップするには、ハードディスクの知識が必要です。初心者のかたやパソコンの操作に慣れていないかたは、「再セットアップする（Cドライブのみ）」（p.86）をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを40Gバイトから1Gバイト単位で変更できます。Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

- この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、外部のディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。
  再セットアップ前にCドライブとDドライブで構成されていたハードディスクはCドライブのみになります。
- Windowsが起動しないなどの理由で、「バックアップレンジャー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、CD-R/RWディスクなどにバックアップデータを移動してください。
- ハードディスクの状態をご購入時から変更（パーティションの追加、削除など）した場合、この方法での再セットアップはできません。
- RAIDモデルで再セットアップをおこなう場合、RAID構成が正常に設定されている必要があります。再セットアップをおこなう前に、ディスクアレイ情報を確認してください。

ご購入時の状態

再セットアップ後の状態

1 「再セットアップする」(p.89) の「1.必要なものを準備する」から「7.システムを再セットアップする」の手順 1 ～４までの操作をおこなう

2 「C ドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック

3 「C ドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、C ドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップが始まり、「Symantec Ghost」の画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。
再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.93)以降の説明を参考にしてください。

これで、C ドライブの領域を変更して再セットアップする作業は完了です。

再セットアップディスクを作成する

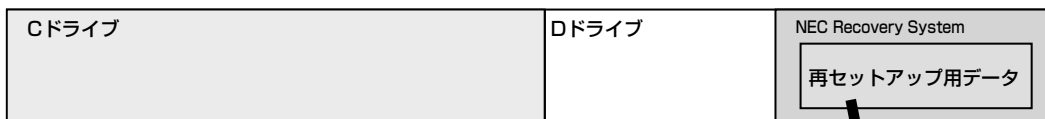
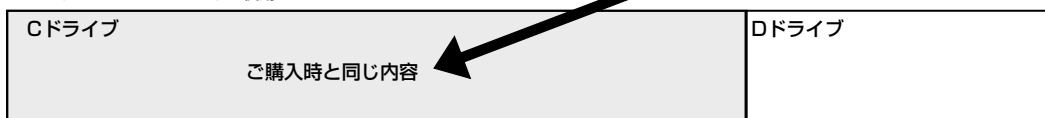
ここでは、再セットアップディスクの作成手順を説明します。

再セットアップディスクとは

再セットアップディスクは、ハードディスク内の「再セットアップ領域」（NEC Recovery System）に保存されている再セットアップ用データを、DVD-R などのディスクに移したものです。ご自分で作成する必要があります。
再セットアップディスクは以下のようなときに使います。

- **Roxio BackOnTrack で作成したバックアップディスクを利用して、ハードディスク全体を復元する場合**
- **ハードディスクが故障して、ハードディスクから再セットアップできない場合**
- **再セットアップディスクを作成して、ハードディスクから再セットアップ用データを削除した後に、再セットアップする場合**
- **ハードディスクのデータを消去する場合**

再セットアップディスクでできる再セットアップについては、「再セットアップディスクを使って再セットアップする」（p.108）をご覧ください。

●再セットアップディスクを作成して再セットアップする場合の一例

通常は、「再セットアップする（C ドライブのみ）」（p.86）をご覧になり、ハードディスクから再セットアップをおこなってください。

再セットアップディスクを作成する

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って、再セットアップディスクを作成します。
再セットアップディスクの作成には2～3時間程度かかります（モデルやその他の条件によって時間は異なります）。

・再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。
・「再セットアップ領域」（NEC Recovery System）に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「再セットアップディスク作成ツール」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリックすると、メッセージが表示され、再セットアップディスクを作成できません。
再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。
- 再セットアップディスクを使用して「C ドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をおこなった場合
- 手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

未使用のDVD-R/DVD+Rディスクまたは未使用のCD-Rディスクを準備する

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「作成の手順」の手順2（p.106）で画面に表示される枚数を確認してください。作成には、CD1枚につき最大約30分、DVD1枚につき最大約100分かかります。

・再セットアップディスクの1枚目（起動ディスク）のみ、CD-Rで作成することができます。

・必ず次の容量のディスクを用意してください。
CD-Rディスクの場合：700Mバイトまたは650Mバイトのもの
DVD-R/+Rディスクの場合：4.7Gバイトのもの
DVD-R/+R（2層）ディスクの場合：8.5Gバイトのもの
・DVD-R/+Rディスク、またはDVD-R/+R（2層）ディスクを使用する場合、1枚目以外は同じ種類のディスクを用意してください。
・次のディスクは使用できません。
CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、BD-R、BD-RE
・作成済みの再セットアップディスクも販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
URL： http://nx-media.ssnet.co.jp/

別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

別売の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

・**スクリーンセーバーが起動しないようにする**

次の手順で設定を変更します。

1.「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
2.「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
3.「スクリーンセーバーの変更」をクリック
4.「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
5.「コントロールパネル」のをクリック

・**起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)**

終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

・**デジタルハイビジョンTVモデルでは、録画予約の時間、番組表の受信時刻とディスク作成の時間が重ならないようにする**

予約の確認や取り消し方法については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

作成の手順

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「再セットアップディスク作成ツール」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック

2 次の画面が表示されたら、ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

- DVD-R/+Rディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-Rディスクで作成できます。
- DVD-R/+R（2層）ディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-Rディスクまたは DVD-R/+R ディスクで作成できます。

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

3 次の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

- **「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CD ドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。**
- **書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。**

4 用意したディスクをセットする

アクセスランプが消えるまで待ってください。

5 「作成開始」をクリック

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

6 「OK」をクリック

7 ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるようにラベル面に記入する

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。
「再セットアップディスクをすべて作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップディスクを使って再セットアップする

再セットアップディスクを使ってできることを説明します。

再セットアップディスクでできること

目的に応じて、次の再セットアップと、ハードディスクのデータ消去をおこなうことができます。

- RAIDモデルで再セットアップをおこなう場合、RAID構成が正常に設定されている必要があります。再セットアップをおこなう前に、ディスクアレイ情報を確認してください。
- LaVie N では、DVD/CD ドライブの電源が切れていると、再セットアップディスクを使って再セットアップすることができません。

DVD/CDドライブの電源状態は、画面右下の通知領域にある「節電設定ツール」のアイコン(または)で確認できます。アイコンにマウスポインタをあわせると表示されるメニューの「DVD/CDドライブ」が「オフ」になっているときは、DVD/CDドライブを使えません。DVD/CDドライブのオンとオフは、キーボードの【Fn】+【F5】を押すと切り換わります。
Windows を起動できないときは、次の操作をおこなってください。

1. パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を数回押す
2. BIOS セットアップユーティリティが表示されたら、【F9】を押す
3. 「はい」が選ばれていることを確認して、【Enter】を押す
4. 【F10】を押す
5. 「はい」が選ばれていることを確認して、【Enter】を押す

ご購入時の値が設定され、BIOS セットアップユーティリティが終了します。これで、DVD/CD ドライブの電源が入るようになります。

C ドライブのみ再セットアップ

C ドライブの領域のみ再セットアップをおこない、D ドライブの内容は再セットアップをおこなう前の状態のまま残します。「再セットアップする（C ドライブのみ)」(p.86) で説明している内容と同じです。

- ハードディスクの状態をご購入時から変更（パーティションの追加・削除、ダイナミックディスクなど）した場合、この方法での再セットアップはできません。
- BitLocker をオンにして C ドライブを暗号化している場合、この方法での再セットアップはできません。

C ドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

C ドライブの領域サイズを40Gバイトから1Gバイト単位で設定できます。C ドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。
D ドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

- この方法で再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
  作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。
- 再セットアップを始める前に、CD-R/RW ディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。
  再セットアップ前にC ドライブとD ドライブで構成されていたハードディスクはC ドライブのみになります。
- Windows が起動しないなどの理由で、「バックアップレンジャー」でD ドライブにバックアップデータを作成した場合、一度C ドライブのみ再セットアップをおこなってから、CD-R/RW ディスクなどにバックアップデータを移動してください。
- ハードディスクの状態をご購入時から変更（パーティションの追加、削除など）した場合、この方法での再セットアップはできません。

ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ

C ドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップディスクの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約3時間かかります。C ドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

- この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はC ドライブ、D ドライブともにすべて失われます。
- 再セットアップを始める前に、CD-R/RW ディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- Windows が起動しないなどの理由で、「バックアップレンジャー」でD ドライブにバックアップデータを作成した場合、一度C ドライブのみ再セットアップをおこなってから、CD-R/RW ディスクなどにバックアップデータを移動してください。

バックアップレンジャー

Windowsが起動できない場合にバックアップを取ります。「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.113)で説明している内容と同じです。

ハードディスクのデータ消去

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows Vista標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。
消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

- **かんたんモード(1回消去)**
  ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。
- **しっかりモード(3回消去)**
  米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全に消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。
- **しっかりモードプラス(3回消去+検証)**
  米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全に消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

・この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。

・データ消去方式を選択する画面に、データの消去にかかる目安時間が表示されます。

・RAID モデルでハードディスクのデータ消去をおこなう場合、ご購入時のRAID構成が正常に設定されている必要があります。ハードディスクのデータ消去をおこなう前に、ディスクアレイ情報を確認してください。

・1T バイト以上のハードディスクを搭載したモデルでは、データ消去に 100 時間以上かかる可能性があります。

再セットアップディスクを使った再セットアップ手順

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

1 作成した再セットアップディスクを用意する

2 「再セットアップする（C ドライブのみ）」(p.86) を読み、「1. 必要なものを準備する」から「6. 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り外す」までの作業をおこなう

3 パソコン本体の電源を入れる

4 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク（1 枚目）をセットする

5 「Windows Vista 再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

・「Windows Vista 再セットアップ」の画面が表示されず、パソコンが通常の状態で起動したときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

・ここでバックアップを取りたい場合は「バックアップレンジャー」を選んでください。

6 目的の再セットアップのボタンをクリック

7 以降は、画面の指示にしたがって操作する

再セットアップが始まり、「Symantec Ghost」の画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。
ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

ハードディスクのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されないかぎり、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。

「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、ディスクを取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動して「Windowsのセットアップ」の画面が表示されます。

この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。最初からやりなおしてください。

8 「8.Windowsの設定をする」(p.93)以降の説明を参考に、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをする

「14.Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」の操作まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る

Windowsが正常に起動しないときでも、「バックアップレンジャー」でデータのバックアップを取ることができます。

バックアップレンジャーでできること

通常、データのバックアップは再セットアップをおこなう前に取ります。しかし、障害などが原因でWindowsを起動できない場合があります。その場合は、「バックアップレンジャー」でバックアップを取ってください。

- バックアップレンジャーでは、インターネット設定のバックアップを取ることはできません。
- Windows Vista Ultimateモデルで、BitLockerをオンにしてCドライブを暗号化している場合、バックアップレンジャーでバックアップを取ることはできません。
- 音楽データなどの著作権保護されたデータはバックアップできません。

バックアップレンジャーを使ったバックアップ手順

次の手順で操作してください。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 NECのロゴマークが表示されたら、【F11】を何度か押す

3 「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されたら、「バックアップレンジャー」をクリック

「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったり、ほかのエラーを示す画面が表示されたときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 「バックアップレンジャー」の画面が表示されたら、「バックアップ タイトル」のすべてに☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

☑が付いていないときは、「すべて選択」をクリックしてください。

バックアップが取れるのは、この画面で☑が付いているデータだけです。この画面で、「追加」をクリックすると、ほかのデータを登録できます。

5 「ユーザーとバックアップ先の指定」が表示されたら、バックアップするユーザーを選び、どこにバックアップを取るかを選んで「次へ」をクリック

6 バックアップする内容を確認して「実行」をクリック

バックアップが始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

標準の状態では、パソコンのハードディスク内にあるＤドライブという場所にデータの控えが作成されるようになっています。再セットアップの際にＣドライブの領域を変更する場合には、Ｄ ドライブのデータも消えてしまうため、CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW などのディスクにデータのバックアップを取る必要があります。バックアップ先を変更するには、「ユーザーとバックアップ先の指定」の画面でバックアップ先の場所を指定します。

7 「バックアップの完了」と表示されたら、「完了」をクリック

8 「バックアップレンジャーが終了しました。」と表示されたら、「戻る」をクリック

9 複数のユーザーを設定している場合は、すべてのユーザーのバックアップが終わるまで手順３～８を繰り返す

「Windows Vista 再セットアップ」の最初の画面に戻ります。「再セットアップ」をクリックして再セットアップをおこなってください。

・Ｄ ドライブにバックアップを取った後は、Ｃ ドライブのみ再セットアップをおこなってください。そのほかの方法で再セットアップをおこなうと、Ｄドライブに作成したバックアップデータが消去されてしまう可能性があります。

・Ｃドライブのみ再セットアップする手順について詳しくは、「再セットアップする（Ｃ ドライブのみ）」（p.86）をご覧ください。

付　録

ソフトのサポート窓口一覧

ソフトの製造元各社のサポート窓口一覧です。下記のソフトについて質問・相談がある場合は、各々の窓口までお問い合わせください。添付されているソフトは、モデルにより異なります。

■ **年末、年始および各社の休業日は、サポートを休ませていただく場合があります。**

■ **お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめのうえ、おかけください。**

NECのパソコンやソフトウェア、周辺機器については、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「困った」-「NECのサービス＆サポート」をご覧ください。

ソフト名	サポート窓口
Office Personal 2007(Office 2007モデル) ・Word 2007(Office 2007モデル) ・Excel 2007(Office 2007モデル) ・Outlook 2007(Office 2007モデル) ・PowerPoint 2007(Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデル) ・Office ナビ 2007(Office 2007モデル)	無償サポート - 2007 Office System ・セットアップ、インストールについて 月～金曜日 午前9時30分～午前12時、午後1時～午後7時 土曜日・日曜日 午前10時～午後5時 指定休業日、年末年始、祝祭日除く フリーダイヤル：0120-09-0196 東京：03-5354-4500(4件まで無料、5件目からは有料) 大阪：06-6347-4400(4件まで無料、5件目からは有料) インターネットでのお問い合わせは URL：http://support.microsoft.com/select/?target=assistance ・基本操作について 月～金曜日 午前9時30分～午前12時、午後1時～午後7時 土曜日 午前10時～午後5時 指定休業日、年末年始、祝祭日除く フリーダイヤル：0120-09-0196(4件まで無料、5件目からは有料) 東京：03-5354-4500(4件まで無料、5件目からは有料) 大阪：06-6347-4400(4件まで無料、5件目からは有料) インターネットでのお問い合わせは URL：http://support.microsoft.com/select/?target=assistance Office Personal 2007で4インシデント(4件のご質問)まで、Office PowerPoint 2007で2インシデント(2件のご質問)まで無償 ご利用手順 1.電話をおかけいただく前に、氏名、電話番号、プロダクトIDをご用意ください。 2.お問い合わせ窓口の電話番号にお電話をください。 3.プロダクトIDを確認の上、サポートを開始いたします。 プロダクトIDは、パッケージに同梱の「無償サポート用 プロダクトIDのご案内」(ピンク色の紙)でご確認ください。 ・マイクロソフト アクセシビリティ窓口 FAX：0120-043334 URL：http://www.microsoft.com/japan/enable/products/supportinfo.mspx E-mail：mskkacc@microsoft.com 当窓口は聴覚や言語等に障害をお持ちの方にご案内させていただくための専用窓口です。電話でのお問い合わせが困難な方以外からのお問い合わせはご遠慮いただいております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
Adobe® Reader™	ホームページ上でサポート情報を公開しています。 URL：http://www.adobe.com/jp/support/products/adobereader.html
Adobe® Flash® Player	ホームページ上でサポート情報を公開しております。 URL：http://www.adobe.com/jp/support/flashplayer/
Windows Live™ Messenger Windows Live™ メール Windows Live™ Writer Windows Live™ フォトギャラリー	サポートへのお問い合わせ URL：http://support.live.com/default.aspx Windows Liveの無料サービスでは電子メールのみでサポートをご提供しており、お問い合わせをいただいてから原則として24時間以内に回答をお送りするよう努めております。ただし、調査にお時間がかかる場合、また、お問い合わせの混雑状況によっては、24時間以上お待たせしてしまうこともございます。恐れ入りますが、あらかじめご了承ください。
FlipViewer 4.5	イーブック・システムズ株式会社 FlipViewerサポート FlipViewer動作全般 月～金曜日　午前10時～午後5時(祝祭日除く) URL：http://www.ebooksystems.co.jp/support/index.php E-mail：fv-support@ebooksystems.co.jp

ソフト名	サポート窓口
ウイルスバスター™ 2009	ウイルスバスターサービスセンター Tel：0570-01-9610(有料：ナビダイヤル) Tel：03-5334-1087(光電話・PHSをご利用のお客様) 9:30～17:30(土日、祝祭日含む) 90日版に関するお問い合せに限ります
筆ぐるめ Ver.16	富士ソフト株式会社　インフォメーションセンター 〒130-0022 東京都墨田区江東橋2－19－7 月曜～金曜　9:30～12:00、13:00～17:00(祝祭日、および休業日を除く) ただし、11/1～12/30の間は無休サポート(受付時間：9:30～17:00 12/30のみ12:00まで) Tel：03-5600-2551 Fax：03-3634-1322 URL：http://info.fsi.co.jp/fgw/ E-mail：users@fsi.co.jp
BeatJam 2009 for NEC PCOMG120NBG Music Store Browser for Windows Media Center BeatJam Player for Windows Media Center	ジャストシステムサポートセンター 〒771-0189 徳島県徳島市川内町ブレインズパーク Tel：東京 03-5412-3980　大阪 06-6886-7160 月～金曜日　午前10時～午後7時(特別休業日を除く) 土・日・祝日　午前10時～午後5時(特別休業日を除く) URL:http://support.justsystems.com お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。 サポート対象は次の3つのアプリケーションです。 ・BeatJam※(MP3エンコーダを含む) ・Music Store Browser for Windows Media Center ・BeatJam Player for Windows Media Center ※非搭載の、BeatJam Music Server、BeatJam Network Playerは対象に含みません。
スカパー！Netてれび	スカパー！Netてれび　カスタマーサポート係 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-14 TEL：03-5287-2940 月～金曜日　10:00～17:00(土、日、祝日を除く) URL：http://wmcnet.skyperfectv.co.jp/contact/
EdyViewer 2.1.2.2	Edy救急ダイヤル Tel:0570-081-999(有料 ナビダイヤル)、044-520-1761 月～金曜日 9:30～19:00 土、日、祝祭日 10:00～18:00 休業日 年末年始および毎年10月第3土曜日
Yahoo!ツールバー	Yahoo!ツールバーヘルプ URL：http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/
DVD MovieWriter® for NEC	コーレル株式会社　ユーリード　テクニカルサポート(DVD MovieWriter窓口) 製品のサポートを受けられる際には、シリアルナンバーまたは製品番号が必要になります。あらかじめご準備ください。また、電話による問い合わせは、新製品発売時期や時間帯などによってつながりにくくなります。その際には、ユーリードシステムズ製品のホームページよりサポートページをご覧ください。サポートページ内にある「Q&A検索」で解決できない場合には、いずれかのページにある「お問い合わせフォーム」をご利用の上、お問い合わせください。 〒220-8124 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1　横浜ランドマークタワー　24階 TEL：045-226-1966(電話料金有料、サポート自体無償) FAX：045-226-3895 月～金曜日　午前10時～12時 午後1時30分～5時30分(土日祝祭日、指定休業日を除く) URL：http://www.corel.jp/support/ 上記のURLよりQ&A検索をおこなってください。解決できない場合には、上記ページにある「お問い合わせフォーム」をご利用の上、お問い合わせください。
デ辞蔵PC	イースト株式会社 デ辞蔵サポート係 デ辞蔵のサポートはメールのみで受け付けております。 月～金曜日　10:00～12:00　13:00～17:00(祝祭日、年末年始などの休業日を除く) E-mail：dejizosupport@est.co.jp

ソフト名	サポート窓口
i-フィルター® 5.0	デジタルアーツ サポートセンター 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー15F 製品に関する質問 Tel：月～金曜日 03-3580-5678　土・日・祝日 0570-001334 FAX：03-3580-3031 月～金曜日　午前10時～午後6時(指定休業日を除く) 土・日・祝日　午前10時～午後8時(指定休業日を除く) URL：http://www.daj.jp/faq/ URL：http://www.daj.jp/ask/
BD-MovieAlbum 1.1 DVD-MovieAlbumSE 4.6 CPRM for NEC G-GUIDE® for Windows Ver.3.6	Panasonic ソフトウェアサポート窓口 Tel：0120-853-334 毎日 午前9時～午後8時 URL：http://panasonic.jp/support/software/
JWord プラグイン	JWord株式会社　JWordサポートチーム URL：http://www.jword.jp/help/ E-mail：support@jword.jp
Roxio Creator LJ Roxio BackOnTrack Suite	Roxioサポートセンター Tel：0570-00-6940 月～金曜日 午前10時～午後6時(祝祭日、年末年始などの休日を除く) URL：http://www.roxio.jp/support/ E-mail：上記サポートページより、問い合わせフォームにて ユーザー登録が必要です。
InterVideo® WinDVD® for NEC InterVideo WinDVD BD® for NEC InterVideo® WinDVD® AVC for NEC	コーレル株式会社 インタービデオ　テクニカルサポート 〒220-8124 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1　横浜ランドマークタワー　24階 Tel：045-226-3899(電話料金有料、サポート自体無償) Fax：045-226-3895 月～金曜日　午前10時～12時 午後1時30分～5時30分(土日祝祭日、指定休業日を除く) URL：http://www.corel.jp/support/ 上記のURLよりQ&A検索をおこなってください。解決できない場合には、上記ページにある「お問い合わせフォーム」をご利用の上、お問い合わせください。 ・お問い合わせの前に インタービデオ製品のウェブサイトでは、24時間いつでもご利用いただけるように、よくあるご質問を掲載した「製品別FAQ」ページを用意しています。お問い合わせの前に、必ずご覧ください。また、お使いのコンピュータのモデル名と合わせてご連絡をお願いします。
駅すぱあと(Windows)	株式会社ヴァル研究所　ユーザーサポートセンター 〒166-8565 東京都杉並区高円寺北2丁目3-17 ・操作方法や機能についてのご質問 Tel:03-5373-3522 Fax:03-5373-3523 月～金曜日 午前9時30分～12時 午後1時～午後5時(ただし祝日を除く) URL:http://ekiworld.net E-mail:support@val.co.jp ・ユーザー登録やバージョンアップについてのご質問 Tel:03-5373-3521 Fax:03-5373-3523 月～金曜日　午前9時30分～12時 午後1時～5時(ただし祝日を除く) URL:http://ekiworld.net E-mail:support@val.co.jp

ソフト名	サポート窓口
ラベルマイティ セレクト2 for NEC PC101NBG※1 FeliCaブラウザエクステンション パーソナルシェルター for NEC PC109NBG※2 SFCard Viewer2 スクリーンセーバーロック2 for NEC PC109NBG※2 シンプルログオン for NEC PC109NBG※2 かんたん登録2 for NEC PC109NBG※2 かざしてナビ for NEC PC109NBG※2 FeliCaポート自己診断 FeliCa Secure Cilent NFRMPCViewer ※1：Webカメラを搭載したモデルはPC101NBGC ※2：Webカメラを搭載したモデルはPC109NBGN	ジャストシステムサポートセンター 〒771-0189 徳島県徳島市川内町ブレインズパーク 東京：03-5412-3980 大阪：06-6886-7160 月～金曜日 10:00～19:00(特別休業日を除く) 土・日・祝日 10:00～17:00(特別休業日を除く) URL:http://support.justsystems.com お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。
てきぱき家計簿マム6	テクニカルソフト株式会社 サポートセンター 〒701-0145 岡山県岡山市今保668-3 URL：http://www.softnet.co.jp/support/ URL：https://www.softnet.co.jp/support/support_box.asp
大富豪 Plus5 100万人！のための囲碁 100万人！のための3D麻雀 100万人！のための金沢将棋レベル100	株式会社アンバランス 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目3番地5 冨山房ビル4階 Tel：03-5283-3625 Fax：03-5283-3665 月～金曜日　午後1時～午後6時　土日祝祭日休業 URL：http://www.unbalance.co.jp/support/index.html E-mail：support@unbalance.co.jp
らくらく無線スタート® EX	NECアクセステクニカ(株) Atermインフォメーションセンター Tel:050-5540-5677　(IP電話サービス利用) ※上記電話番号はIP電話サービスを利用しており試験的に運用しています。 IP電話サービスの運用状況によってはつながらない場合があります。 どの電話からお掛けいただいても電話料金が発生します。 電話料金につきましてはご契約の電話事業者へお問い合せください。 ※上記の電話番号をご利用いただけないお客様は、下記番号をご利用ください。 (携帯電話からもご利用いただけます) ナビダイヤル ：0570-050611 一般固定電話 ：04-7185-4761 月～金曜日 午前9時～午後6時 土曜日 午前9時～午後5時 日曜日 午前10時～午後5時 祝日、年末年始、指定休業日を除く ※土日はお問い合わせが集中するため、電話がつながりにくい場合があります。 URL:http://121ware.com/aterm/
セキュアブレイン フィッシュウォール	セキュアブレイン　テクニカルサポートセンター 〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目6-7　麹町RKビル4階 Tel：0120-988-131(通話料無料) Fax：03-3234-3002 月～金曜日 午前9時～12時、午後1時～5時(祝日を除く) URL：http://www.securebrain.co.jp/support/index.html E-mail：tech_support@securebrain.co.jp

ソフト名	サポート窓口
Corel® Paint Shop Pro® Photo X2	コーレル株式会社 〒220-8124 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー24階 ・テクニカルサポート Tel：0570-003-002 月～金曜日10:00～12:00、13:30～17:30（祝日・年末年始を除く） URL：http://www.corel.jp/support メールでのお問い合わせはホームページから 登録ユーザーはご購入後90日は無償電話サポートとなります。 最新バージョンより2バージョン前までのサポートとなります。 ・購入前の購入に関するサポート Tel：0570-009-002 月～金曜日10:00～12:00、13:30～17:30（祝日・年末年始を除く） URL：http://www.corel.jp/support メールでのお問い合わせはホームページから ・アディショナル サポート 月～金曜日10:00～12:00、13:30～17:30（祝日・年末年始を除く） URL：http://www.corel.com/servlet/Satellite/jp/jp/Content/1204918400176 申し込みを行った方のみに電話番号を公開しています。詳しくはHPを参照してください。
時事通信社・医学・健康コンテンツ・家庭の医学・ 血液サラサラ健康事典	株式会社 時事通信出版局 デジタルコンテンツお問い合わせ担当 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル1階 Tel：03-3591-8690 月～金曜日 10時～17時 URL: http://book.jiji.com/igaku2006/ E-mail：igaku@book.jiji.com
脳力トレーナー	お客様サポート窓口 〒154-0011 東京都世田谷区上馬2丁目14番1号 横溝ビルディング 製品の操作・内容に関するお問い合わせ Tel：0570-070-030 PHS、IP電話からは045-326-0474 月～金曜日　午前12時～午後5時（土日祝祭日、サポートセンター休業日を除く） URL：http://www.interchannel.co.jp/ E-mail：u-support@interchannel.co.jp 原則として、ユーザー登録をされた方
BIGLOBEツールバー	BIGLOBEサーチ事務局 E-mail：search@bcs.biglobe.ne.jp
マカフィー®・インターネットセキュリティ ベーシックエディション	マカフィー・カスタマオペレーションセンター 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1渋谷マークシティウェスト20階 登録方法やお支払いなどのオペレーション上のお問い合わせ Tel：0570-030-088（有料：ナビダイヤル） 月～金曜日　午前9時～午後5時（祝祭日を除く） URL：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/ E-mail：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp このパソコンをご購入されたかたのみが対象となります。 マカフィー・テクニカルサポートセンター ソフトウェアのご使用上の操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ Tel：0570-060-033（有料：ナビダイヤル） 午前9時～午後9時（年中無休） URL：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/ E-mail：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp このパソコンをご購入されたかたのみが対象となります。

ソフト名	サポート窓口
NHK時計(青版) NHK時計(木目調版)	日本放送協会　視聴者コールセンター 〒150-8001 東京都渋谷区神南2−2−1 Tel：0570-066-066(ナビダイヤル) 午前9:00〜午後10:00(土・日・祝も受付) Fax：03-5453-4000 URL:http://www.nhk.or.jp/css/ E-mail：HPフォームより受付します。
NewsGadget 日テレ Ver1.1	NewsGadget 日テレ　HP URL：http://www.news24.jp/newsgadget/
TBS News-iガジェット	株式会社TBSテレビ　コンテンツ事業局デジタルセンター 〒107-8006 東京都港区赤坂5丁目3-6 Tel：03-5571-2089(有料) 10:00〜18:00(平日のみ) URL：http://www.tbs.co.jp E-mail：LDR06511@nifty.ne.jp ガジェットに関する問い合わせのみとなっております。
フジテレビ DesktopTools ラフちゃんねる for Windows Vista™ ラフコット フジテレビ DesktopTools ラフちゃんねる for Windows Vista™ ラフくん時計	株式会社フジテレビジョン　ビットスタジオ 〒137-8088 東京都港区台場2-4-8 平日午前10時〜午後5時(土日・祝休日は対応不可) URL：http://www.fujitv.co.jp/laugh-channel/help/vista/ E-mail：laugh-channel@info.fujitv.co.jp メールまたは上記ヘルプページURLから問い合わせフォームにて問い合わせを受け付けております。
テレ朝ガジェット	テレビ朝日ガジェットに関するお問合せ窓口 〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 平日11時から19時まで URL：http://www.tv-asahi.co.jp/contact/ E-mail：webmaster@tv-asahi.co.jp
テレビ東京 あにてれがじぇっと	テレビ東京「あにてれ」お問い合わせ Tel：03-3471-6958 月曜日〜金曜日 11：00〜18：00(祝日のぞく) E-mail：anitv@tv-tokyo.co.jp ※ご返信はお取り扱い時間内とさせていただいております。

■ ここに記載されていないソフトについては、以下へお問い合わせください(オンラインサービスは除きます。それぞれのサポート窓口へお問い合わせください)。

・「121ware.com」で Q&A 情報を探してください
URL http：//121ware.com/support/

121コンタクトセンターに電話する

ここまでの方法を試してだめだったら、121コンタクトセンターに電話をしてください。

電話をする前に、お客様登録と「修理チェックシート」の記入が必要です。また上手に利用するには、いくつかのコツがあります。

121コンタクトセンター

フリーコール **0120-977-121**※

※ 電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

※ 携帯電話やPHS、IP電話など、上記電話番号をご利用いただけないお客様は次の電話番号へおかけください。
03-6670-6000（通話料お客様負担）

受付時間

■購入相談、回収リサイクル受付　9:00～17:00（年中無休）

■修理受付、NECパソコン情報FAXサービス　24時間365日

・システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。

【ご注意】
121コンタクトセンターへのお問い合わせ方法は、変更させていただく場合がございます。詳しくは当社ホームページ「121ware.com」をご覧ください。

電話サポートを上手に使うコツ

1 事前に質問内容を整理する

このパソコンには「修理チェックシート」が付いています。
パソコンの機種やトラブルの内容、直前に何をしていたか、などを「修理チェックシート」に書き留めておくと、技術スタッフとスムーズにやりとりできます。
紛失した場合は巻末のものを使ってください。

2 パソコンのそばから電話する

技術スタッフが電話で誘導して操作してもらうことが多いので、できれば、パソコンを操作できる場所から電話してください。

3 マニュアルを手元に置く

このパソコンや周辺機器、ソフトなどのマニュアル（取扱説明書）を手元に集めてから電話していただくと、技術スタッフとのやりとりに役立ちます。

気持ちよくやりとりするために

●落ち着いて受け答えする

最初にお名前や「121wareお客様登録番号」、電話番号、使用機種などをお聞きします。その後で、問い合わせをお聞きします。落ち着いて順番にお話しください。

●自分のパソコン習熟度を伝える

技術スタッフがサポートするのにとても参考になります。パソコンをはじめたばかり、3年くらいの経験がある、会社で伝票入力ならやったことがある、など、はじめに伝えていただくと時間を節約できます。

●トラブルの説明は根気よく、正確に

「修理チェックシート」に書き込んだ内容を読み上げてください。

●原因を決めつけたり、故障と決めつけずに技術スタッフの話を聞く

故障だと思っていても、ちょっとした操作の間違いであることが意外に多いものです。落ち着いて技術スタッフの指示にしたがってください。

索　引

修理チェックシート

A欄・故障診断用

修理依頼日	20　　年　　月　　日

ご住所	〒　　　－		
フリガナ お名前 （貴社名）		電話番号	ご自宅（　　　）　　　－ FAX（　　　）　　　－
部署名/ご担当者名 （法人の場合）		日中の連絡先 （お勤め先・携帯電話等）	

（本体） 製品型番/型名	PC-	製造番号	
（ディスプレイ） 製品型番/型名		製造番号	

症状について

1 どのような症状ですか？（できるだけ詳しくご記入ください）

① 電源は入りますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々
② 本体ランプは点灯しますか？	□ はい（　　　色）		□ いいえ
③ モニタランプは点灯しますか？	□ いいえ	□ グリーン色	□ オレンジ色
④ ファン（通風）は回転しますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑤ 「NEC」ロゴは表示されますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑥ Windowsは立ち上がりますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々

2 その症状はいつから発生していますか？　　20　　年　　月　　日頃から

3 その症状はどんな操作をしたときに起こりますか？

4 症状の発生頻度を教えてください　□ 常時　□ 一日に数回　□ 週に数回　□ 月に数回　□ 年に数回　□ 不定期的に　□ 過去に発生した

5 お客様が追加してインストールされたソフトウェアがあれば、メーカー名、製品名をご記入ください

6 お客様が増設した周辺機器があれば、製品名をご記入ください
（対象：メモリ・ハードディスク・プリンタ・モデム等）

7 インターネットまたは電子メールに関する故障の場合は使用回線を教えてください
□ アナログ電話回線　□ ISDN　□ ADSL　□ 光回線　□ CATV　□ 社内LAN
□ その他〔　　　　　　　　〕

8 テレビに関する故障の場合はテレビ電波の種類を教えてください
□ 地上波アナログ　□ 地上波デジタル　□ BS　□ CS　□ CATV〔会社名：　　　　　〕

B欄・修理申込用

1 お買い上げ日	20　　年　　月　　日
2 保証書の添付について	□ 無 □ 有〔保証書には販売店印または販売店の発行する領収書(購入日がわかるもの)が必要です〕
3 修理料金見積りについて	□ 見積不要(修理連絡なしに修理してもよい) □ 見積連絡不要　※見積連絡の必要がないので早く修理品を返却できます。 〔　万　千円以下(税込)であれば連絡なしに修理してもよい〕 □ 見積連絡必要
4 お預りする添付品について	□ 無 □ 有（□ ACアダプタ　□ メモリ　□ 電源コード　□ キーボード　□ マウス　□ フロッピー媒体　□ CD媒体　□ 保証書　□ その他（　　））
5 [重要] ハードディスクの ※1 初期化について	□ 同意する □ 同意しない（故障原因がハードディスクまたはソフト障害の場合、ご同意いただけないと修理を行うことができません。そのままお返しすることをご了承ください。ハードディスク故障またはソフト障害のみ初期化。他の部品故障はハードディスクの初期化は行いません。）
6 ハードディスク内のデータのバックアップについて ※1	□ バックアップした □ バックアップしない
7 セットアップメニュー(BIOSメニュー)のスーパバイザパスワードの設定について ※2	□ 設定していない □ 設定しているが修理を出す前に解除した □ 設定しているが「12345」(半角)に変更した □ パスワードを教える。〔スーパバイザパスワード　　〕
8 ログインする際のユーザー名でAdministrator（コンピュータの管理者）権限を持つユーザー名について（セットアップ時の登録ユーザー名） ※2	ユーザー名〔　　〕 パスワードの設定 （□ 設定していない(修理を出す前に解除した) □ 設定しているが「12345」(半角)に変更した □ パスワードを教える。〔パスワード　　〕）

注意事項

※1　修理のためにハードディスクの初期化が必要となる場合があります。初期化によりハードディスク内に記録されているお客様すべてのデータおよびソフトウェアが消去されます。
（パソコン内に登録されたソフトウェアや作成されたデータ、インターネット接続情報、メールアドレスやメール内容、お客様が取り込んだ写真、ホームページお気に入り情報、その他お客様が登録された固有の設定情報など、ハードディスク内の「すべてのドライブ」の「すべてのデータ」が消去されます。）
従いまして、常日頃からこまめにバックアップ(複製)するとともに、修理に出される前には必ずバックアップをお取りいただくようお願いいたします。
また、初期化にご同意いただけない場合、修理をすることができず診断料を請求しそのままお返しすることがあります。

※2　修理に出される前に、必ずパスワードを解除するか「12345」（半角）に変更していただくようお願いいたします。指紋認証システムをご利用のお客様は、あらかじめ認証機能を解除してください。
ご希望により当社でパスワードを解除(有料）する場合は、121コンタクトセンター（フリーコール　0120-977-121）〈修理受付〉までお問い合わせください。認証解除等においては再セットアップが必要になる場合があります。

パソコンの中にもマニュアルがある

● ソフト＆サポートナビゲーターで調べてみよう ●

このパソコンには、使いたいソフトを探したり、パソコンの機能についての説明を見ることができる「ソフト＆サポートナビゲーター」が入っています。

デスクトップにある をダブルクリックすれば、いつでも利用できます。

目的に合わせて、次の4種類の説明をご覧ください。

▶ ソフトを探す	このパソコンに入っているソフトを探して、起動することができます。ソフトについての説明もあります。
▶ 使う	パソコンに周辺機器を取り付ける方法やWindowsの操作、セキュリティの設定などについて説明しています。
▶ 困った	うまくいかないとき、故障かな？と思ったときにご覧ください。NECのサポート窓口についての情報もこちらです。
▶ パソコンの各機能	このパソコンの各機能や名称についての詳しい情報を記載しています。

VALUESTAR

LaVie

810601819A

初版 **2009年4月**
NEC
853-810601-819-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。